

# 須賀川市地域福祉に関するアンケート調査 集計結果報告

**【市民対象分】**

# 【目次】

I	調査概要	1
1	調査対象	1
2	調査方法	1
3	調査実施	1
4	回収結果	1
5	調査内容（大項目）	1
II	調査結果	2
1	あなた自身について	2
2	地域での日常生活について	5
3	ボランティア活動等への参加について	18
4	福祉サービス全般について	23
5	「ひきこもり」について	26
6	災害時の対応及び避難行動要支援者支援制度について	30
7	成年後見制度について	33
8	再犯防止の取り組みについて	35
III	調査結果のまとめ	42
1	地域の概況について	42
2	福祉サービスについて	43
3	ひきこもりの状況	44
4	災害時の対応等	44
5	成年後見制度	45
6	再犯防止の取組	45

# I 調査概要

## 1 調査対象

- ◇ 住民基本台帳に登録されている18歳以上の方2,000人

## 2 調査方法

- ◇ 郵送による配布・回収

## 3 調査実施

- ◇ 配布日 令和5年6月15日 回収期限 令和5年6月30日

## 4 回収結果

- ◇ 配布数 2,000人
- ◇ 回収数 767人
- ◇ 回収率 38.4%

## 5 調査内容（大項目）

- 1 あなた自身について
- 2 地域での日常生活について
- 3 ボランティア活動等への参加について
- 4 福祉サービス全般について
- 5 「ひきこもり」について
- 6 災害時の対応及び避難行動要支援者支援制度について
- 7 成年後見制度について
- 8 再犯防止の取り組みについて

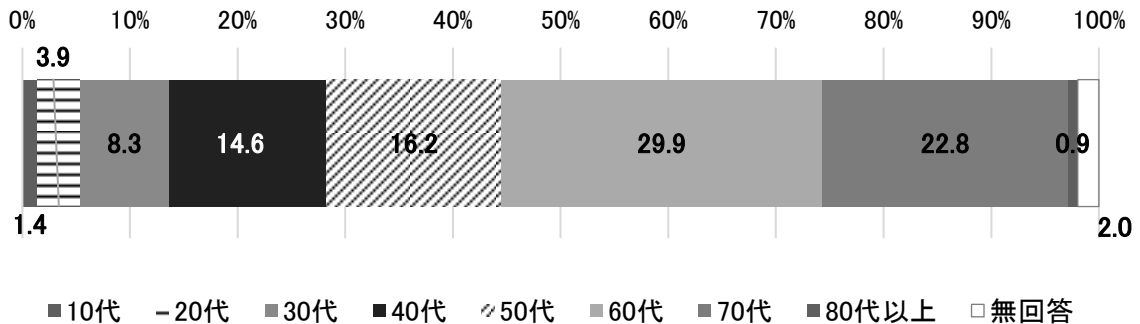
## Ⅱ 調査結果

### 1 あなた自身について

#### (1) 年齢

- 「60代」が29.9%で最も高く、次いで「70代」(22.8%)となっており、60～70代で全体の過半数を占めている。

問1 令和5年5月1日現在のあなたの年齢をお答えください

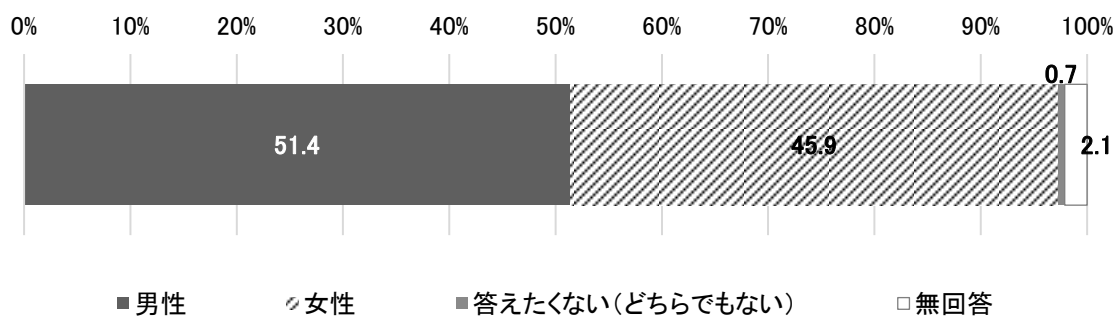


総数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
767	11	30	64	112	124	229	175	7	15
100.0%	1.4%	3.9%	8.3%	14.6%	16.2%	29.9%	22.8%	0.9%	2.0%

#### (2) 性別

- 「男性」51.4%、「女性」45.9%となっており、男性がやや女性の割合を上回っている。

問2 あなたの性別をお答えください

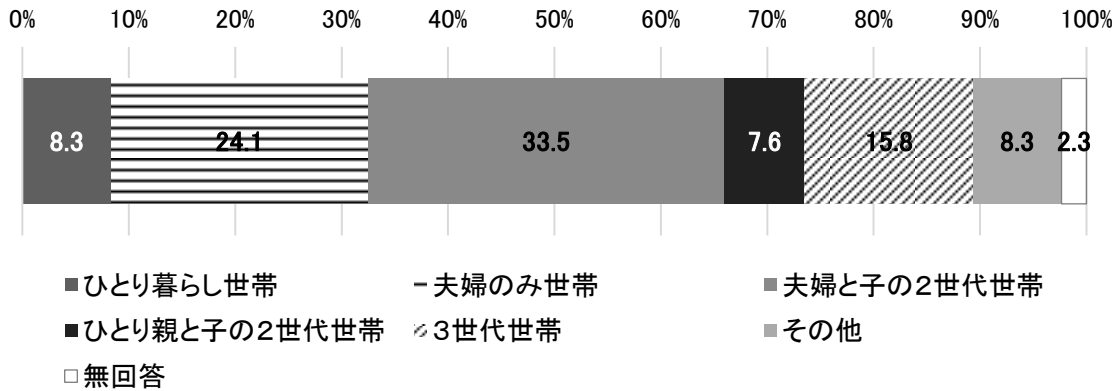


総数	男性	女性	答えたくない(どちらでもない)	無回答
767	394	352	5	16
100.0%	51.4%	45.9%	0.7%	2.1%

### (3) 世帯状況

- 夫婦と子の2世代世帯が33.5%で最も高く、次いで夫婦のみ世帯(24.1%)となっている。
- 世帯状況及び居住地区のクロス集計でみると、特に旧市内におけるひとり暮らし世帯の割合(53.1%)が高くなっている。

問3 あなたの現在の世帯状況をお答えください



総数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみ世帯	夫婦と子の2世代世帯	ひとり親と子の2世代世帯	3世代世帯	その他	無回答
767	64	185	257	58	121	64	18
100.0%	8.3%	24.1%	33.5%	7.6%	15.8%	8.3%	2.3%

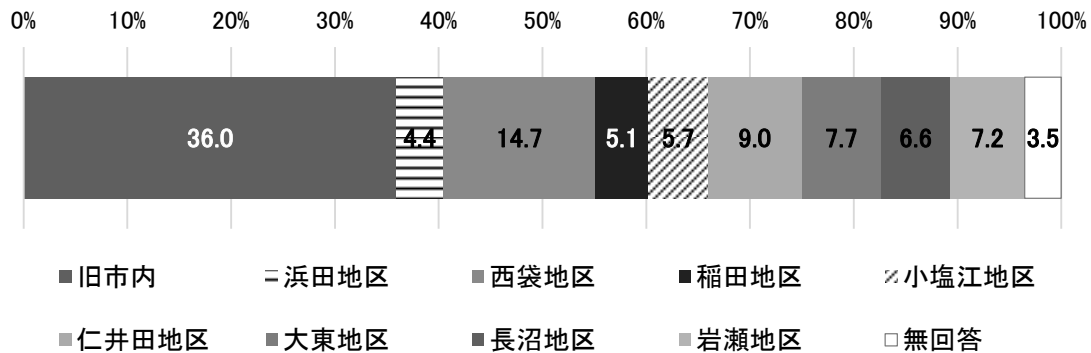
<世帯状況×居住地区クロス集計表>

	総数	旧市内	浜田地区	西袋地区	稲田地区	小塩江地区	仁井田地区	大東地区	長沼地区	岩瀬地区	無回答
ひとり暮らし世帯	64	34	2	11	2	0	2	10	1	1	1
	100.0%	53.1%	3.1%	17.2%	3.1%	0.0%	3.1%	15.6%	1.6%	1.6%	1.6%
夫婦のみ世帯	185	67	10	32	13	13	20	8	11	10	1
	100.0%	36.2%	5.4%	17.3%	7.0%	7.0%	10.8%	4.3%	5.9%	5.4%	0.5%
夫婦と子の2世代世帯	257	95	13	40	11	18	24	17	19	15	5
	100.0%	37.0%	5.1%	15.6%	4.3%	7.0%	9.3%	6.6%	7.4%	5.8%	1.9%
ひとり親と子の2世代世帯	58	28	0	4	4	3	7	7	1	3	1
	100.0%	48.3%	0.0%	6.9%	6.9%	5.2%	12.1%	12.1%	1.7%	5.2%	1.7%
3世代世帯	121	30	7	13	7	7	9	11	18	17	2
	100.0%	24.8%	5.8%	10.7%	5.8%	5.8%	7.4%	9.1%	14.9%	14.0%	1.7%
その他	64	22	1	12	2	3	7	6	1	8	2
	100.0%	34.4%	1.6%	18.8%	3.1%	4.7%	10.9%	9.4%	1.6%	12.5%	3.1%

## (4) 居住地区

- 「旧市内」が36.0%で最も高く、次いで「西袋地区」(14.7%)となっている。

問4 現在、お住まいの地区をお答えください

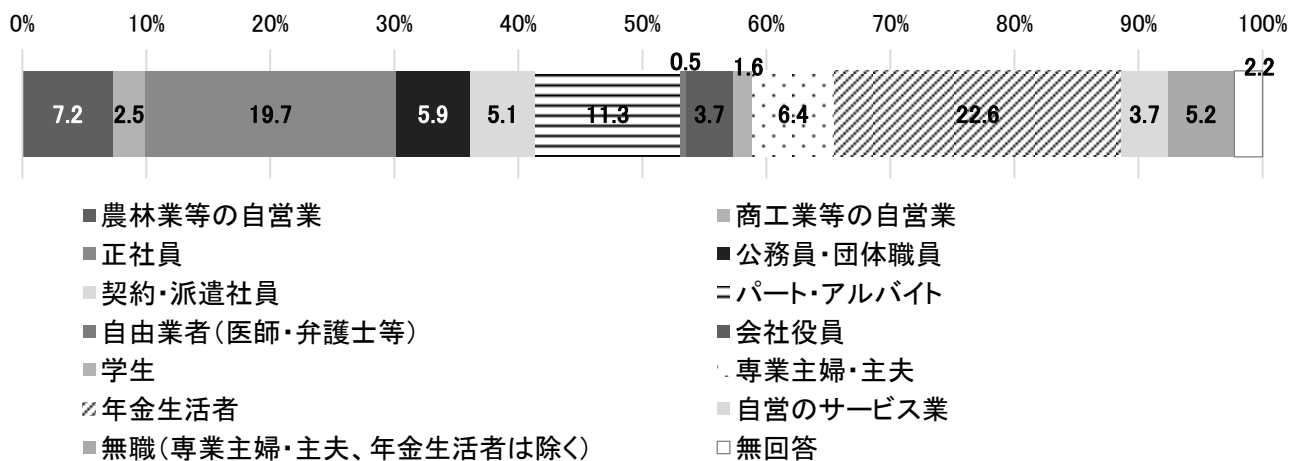


総数	旧市内	浜田地区	西袋地区	稲田地区	小塩江地区	仁井田地区	大東地区	長沼地区	岩瀬地区	無回答
767	276	34	113	39	44	69	59	51	55	27
100.0%	36.0%	4.4%	14.7%	5.1%	5.7%	9.0%	7.7%	6.6%	7.2%	3.5%

## (5) 職業

- 「年金生活者」が22.6%で最も高いが、回答者属性（最多年代）の影響が高いものと考えられる。次いで高いのは「正社員」(19.7%)となっている。

問5 あなたの職業についてお答えください



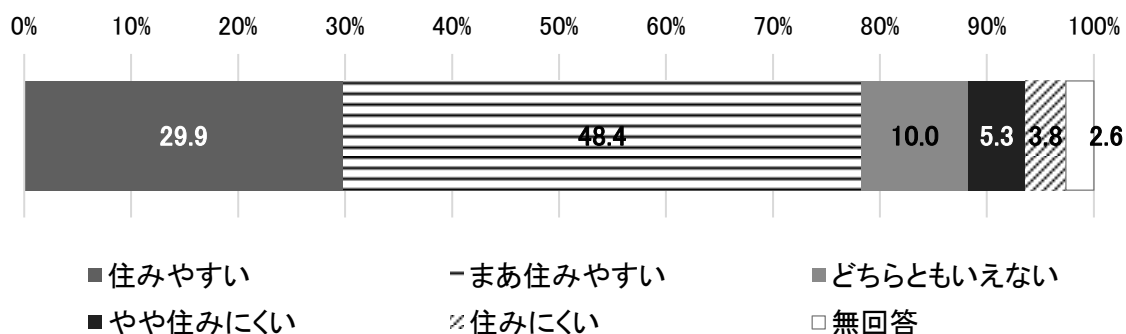
総数	農林業等の自営業	商工業等の自営業	正社員	公務員・団体職員	契約・派遣社員	パート・アルバイト	自由業者(医師・弁護士等)	会社役員	学生	専業主婦・主夫	年金生活者	自営のサービス業	無職(専業主婦・主夫、年金生活者は除く)	その他	無回答
767	55	19	151	45	39	87	4	28	12	49	173	28	40	20	17
100.0%	7.2%	2.5%	19.7%	5.9%	5.1%	11.3%	0.5%	3.7%	1.6%	6.4%	22.6%	3.7%	5.2%	2.6%	2.2%

## 2 地域での日常生活について

### (1) 須賀川市の住みやすさ

- 「住みやすい」 + 「まあ住みやすい」 を合わせると 78.3% となり、回答者の 8 割程度は地域を『住みやすい』と感じている。
- 居住地区別にみると、「住みやすい」の割合が他地区に比べて高かったのは旧市内（39.9%）、「住みにくい」の割合が高かったのは大東地区（13.6%）となっている。

問6 あなたが、いま住んでいる地域は住みやすいと感じますか



総数	住みやすい	まあ住みやすい	どちらともいえない	やや住みにくい	住みにくい	無回答
767	229	371	77	41	29	20
100.0%	29.9%	48.4%	10.0%	5.3%	3.8%	2.6%

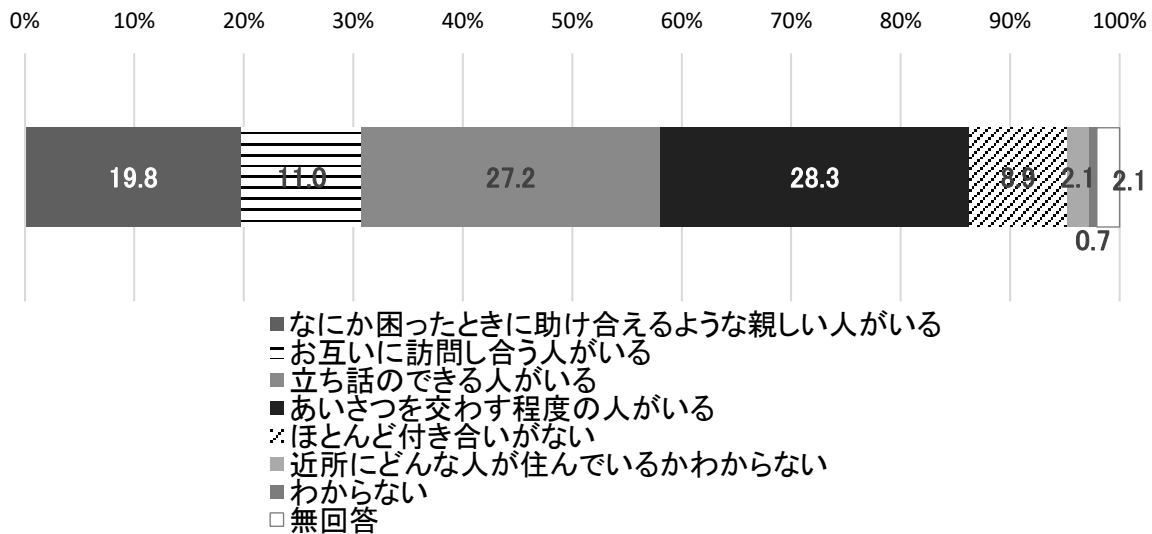
<居住地区クロス集計表>

	総数	住みやすい	まあ住みやすい	どちらともいえない	やや住みにくい	住みにくい	無回答
旧市内	276	110	135	22	4	5	0
	100.0%	39.9%	48.9%	8.0%	1.4%	1.8%	0.0%
浜田地区	34	9	16	8	1	0	0
	100.0%	26.5%	47.1%	23.5%	2.9%	0.0%	0.0%
西袋地区	113	42	55	8	5	1	2
	100.0%	37.2%	48.7%	7.1%	4.4%	0.9%	1.8%
稲田地区	39	12	15	4	3	4	1
	100.0%	30.8%	38.5%	10.3%	7.7%	10.3%	2.6%
小塩江地区	44	10	22	5	5	2	0
	100.0%	22.7%	50.0%	11.4%	11.4%	4.5%	0.0%
仁井田地区	69	15	37	9	4	3	1
	100.0%	21.7%	53.6%	13.0%	5.8%	4.3%	1.4%
大東地区	59	9	30	9	2	8	1
	100.0%	15.3%	50.8%	15.3%	3.4%	13.6%	1.7%
長沼地区	51	10	23	5	8	5	0
	100.0%	19.6%	45.1%	9.8%	15.7%	9.8%	0.0%
岩瀬地区	55	9	30	7	8	1	0
	100.0%	16.4%	54.5%	12.7%	14.5%	1.8%	0.0%

## (2) ご近所付き合いの程度

- 「あいさつを交わす程度の人がいる」が28.3%で最も高く、次いで「立ち話のできる人がある」(27.2%)となっている。
- 一方、「なにか困ったときに助け合えるような親しい人がある」が最も高いのが、浜田地区(41.2%)、長沼地区(31.4%)、「立ち話のできる人がある」が最も高いのが仁井田地区(36.2%)、稲田地区(35.9%)となっている。

問7 あなたは、ご近所の方との程度の付き合いがありますか



総数	なにか困ったときに助け合えるような親しい人がある	お互いに訪問し合う人がある	立ち話のできる人がある	あいさつを交わす程度の人がある	ほとんど付き合いがない	近所にどんな人が住んでいるかわからない	わからない	無回答
767	152	84	209	217	68	16	5	16
100.0%	19.8%	11.0%	27.2%	28.3%	8.9%	2.1%	0.7%	2.1%



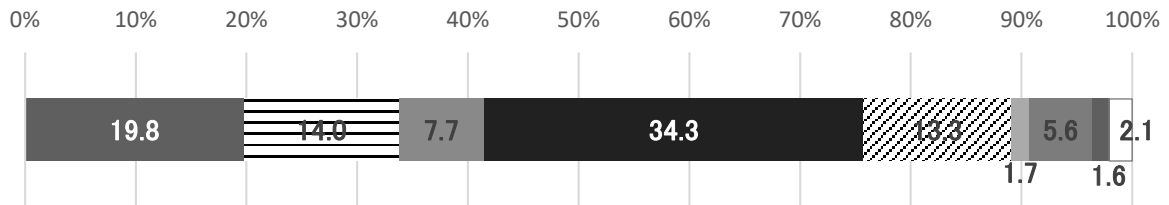
<居住地区クロス集計表>

	総数	なにか困ったときに助け合えるような親しい人がいる	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話のできる人がいる	あいさつを交わす程度の人がある	ほとんど付き合いがない	近所にどんな人が住んでいるかわからない	わからない	無回答
旧市内	276	42	26	78	92	29	8	1	0
	100.0%	15.2%	9.4%	28.3%	33.3%	10.5%	2.9%	0.4%	0.0%
浜田地区	34	14	6	5	7	2	0	0	0
	100.0%	41.2%	17.6%	14.7%	20.6%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
西袋地区	113	23	11	31	32	12	4	0	0
	100.0%	20.4%	9.7%	27.4%	28.3%	10.6%	3.5%	0.0%	0.0%
稲田地区	39	11	4	14	6	3	1	0	0
	100.0%	28.2%	10.3%	35.9%	15.4%	7.7%	2.6%	0.0%	0.0%
小塩江地区	44	8	6	11	15	3	0	1	0
	100.0%	18.2%	13.6%	25.0%	34.1%	6.8%	0.0%	2.3%	0.0%
仁井田地区	69	12	5	25	18	9	0	0	0
	100.0%	17.4%	7.2%	36.2%	26.1%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大東地区	59	10	6	16	19	5	1	2	0
	100.0%	16.9%	10.2%	27.1%	32.2%	8.5%	1.7%	3.4%	0.0%
長沼地区	51	16	9	13	11	1	1	0	0
	100.0%	31.4%	17.6%	25.5%	21.6%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%
岩瀬地区	55	16	10	13	13	0	1	1	1
	100.0%	29.1%	18.2%	23.6%	23.6%	0.0%	1.8%	1.8%	1.8%

### (3) ご近所で手助けが必要な場合の行動

- 「本人から手助けを求められれば手助けする」が34.3%で最も高く、次いで「自分でできることを探して手助けする」(19.8%)となっている。

問8 あなたは、ご近所で高齢者やこども、障がいのある人、子育て等で手助けが必要な人がいたらどうしますか



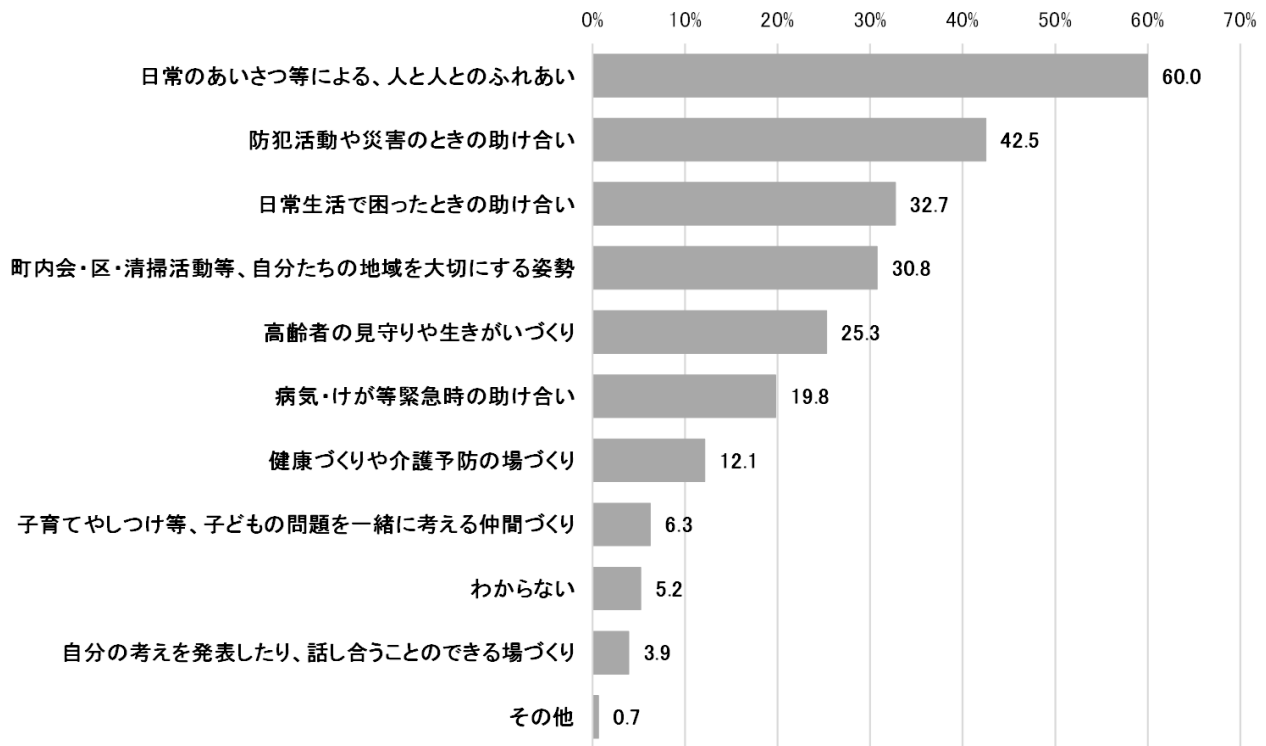
- 自分でできることを探して手助けする
- 近所の人と一緒に手助けする
- 行政機関等から協力を頼まれれば手助けする
- 本人から手助けを求められれば手助けする
- ◇ 手助けしたいがなかなかできない
- 関わりたくないので、手助けしない
- わからない
- その他
- 無回答

総数	自分でできることを探して手助けする	近所の人と一緒に手助けする	行政機関等から協力を頼まれれば手助けする	本人から手助けを求められれば手助けする	手助けしたいがなかなかできない	関わりたくないので、手助けしない	わからない	その他	無回答
767	152	107	59	263	102	13	43	12	16
100.0%	19.8%	14.0%	7.7%	34.3%	13.3%	1.7%	5.6%	1.6%	2.1%

#### (4) ご近所付き合いで大切なもの

- 「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」が60.0%で最も高く、次いで「防犯活動や災害のときの助け合い」(42.5%)となっている。

問9 あなたは、ご近所との付き合いや関わりで、これからはどんなことが大切になると  
 思いますか（複数回答）

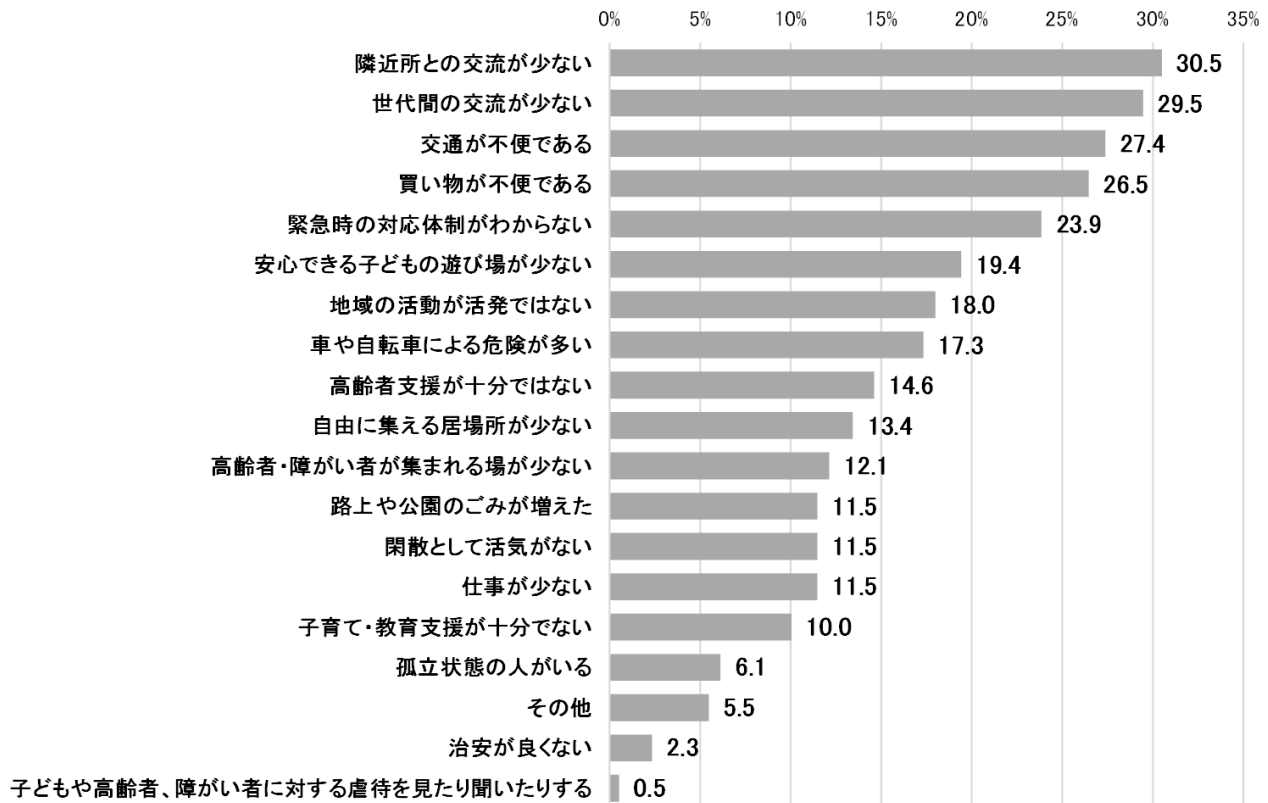


総数	日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい	自分の考えを发表或し、話し合うことのできる場づくり	子育てやしつけ等、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	高齢者の見守りや生きがいづくり	健康づくりや介護予防の場づくり	日常生活で困ったときの助け合い	町内会・区・清掃活動等、自分たちの地域を大切にす姿勢	防犯活動や災害のときの助け合い	病気・けが等緊急時の助け合い	わからない	その他	無回答
767	460	30	48	194	93	251	236	326	152	40	5	16
—	60.0%	3.9%	6.3%	25.3%	12.1%	32.7%	30.8%	42.5%	19.8%	5.2%	0.7%	2.1%

## (5) お住いの地域の課題等

- 「隣近所との交流が少ない」が30.5%で最も高く、次いで「世代間の交流が少ない」(29.5%)となっている。

問10 現在、あなたの住んでいる地域にはどのような問題や課題があると感じていますか  
(複数回答)

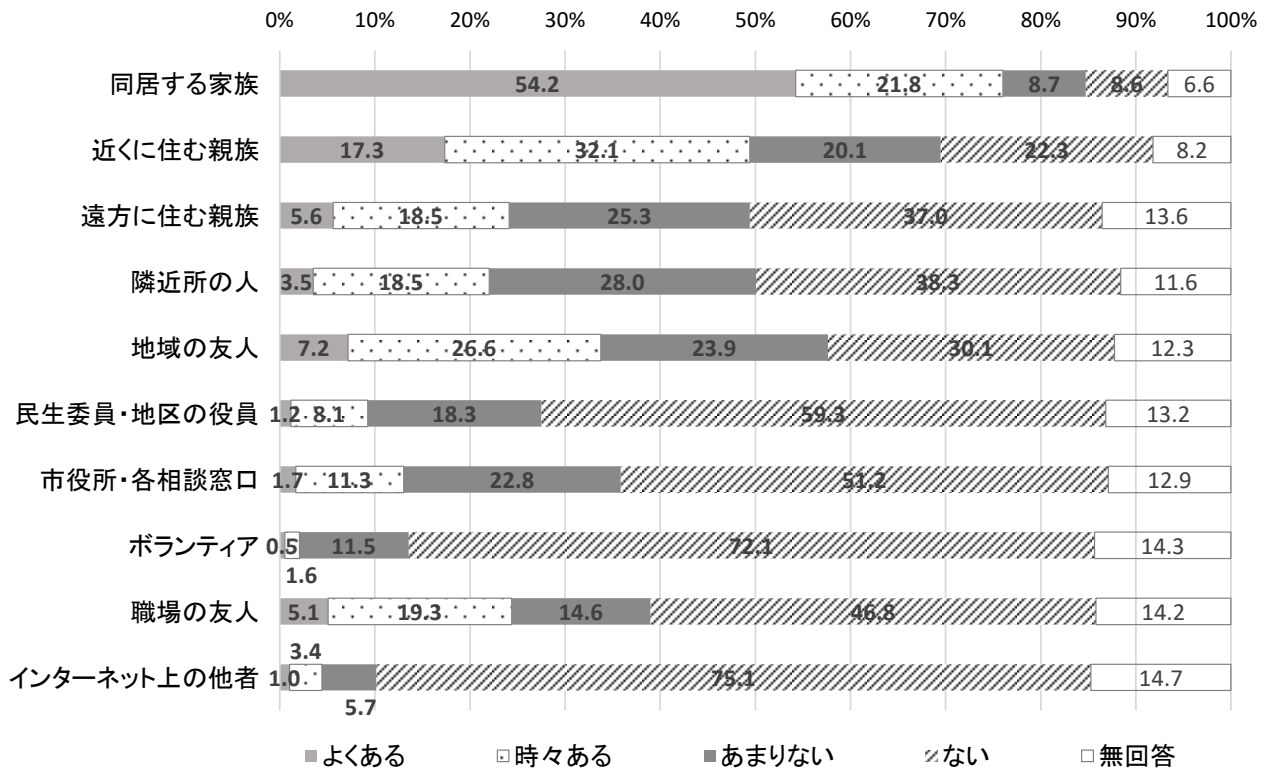


総数	隣近所との交流が少ない	自由に集える居場所が少ない	世代間の交流が少ない	路上や公園のごみが増えた	緊急時の対応体制がわからない	安心できる子どもの遊び場が少ない	買い物が不便である	子育て・教育支援が十分でない	孤立状態の人がいる	高齢者支援が十分ではない	治安が良くない	子どもや高齢者、障がい者に対する虐待を見たり聞いたりする	閑散として活気がない	車や自転車による危険が多い	地域の活動が活発ではない	交通が不便である	高齢者・障がい者が集まれる場が少ない	仕事が少ない	その他	無回答
767	234	103	226	88	183	149	203	77	47	112	18	4	88	133	138	210	93	88	42	53
—	30.5%	13.4%	29.5%	11.5%	23.9%	19.4%	26.5%	10.0%	6.1%	14.6%	2.3%	0.5%	11.5%	17.3%	18.0%	27.4%	12.1%	11.5%	5.5%	6.9%

## (6) 相談の相手

- 「よくある」の割合が最も高いのは「同居する家族」(54.2%)であり、ほか「親族」、「地域の友人」の順に、相談の程度が高くなっている。
- 「インターネット上の他者」については「ない」が75.1%となっている。

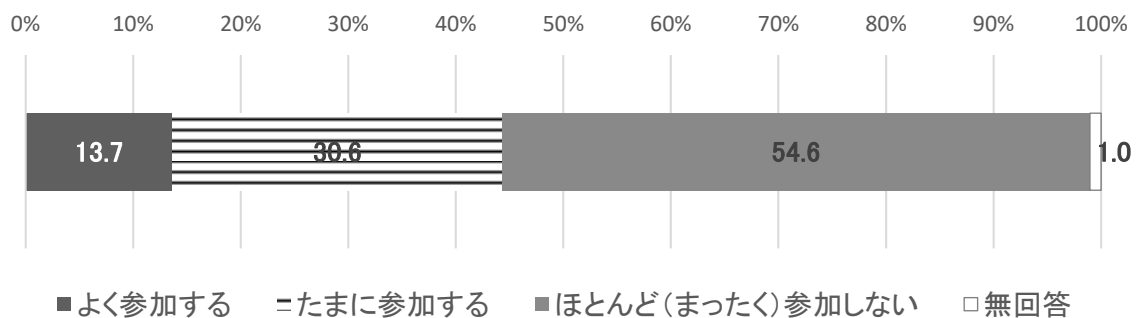
問 11 あなたは困ったことがある場合、次の人に相談に乗ってもらったり、実際に助けてもらうことはありますか



## (7) 地域活動等への参加状況

- 「ほとんど(まったく)参加しない」が54.6%で回答者の過半数を占めており、その理由としては「参加したい行事がない」(33.7%)が最も高くなっている。
- 地区別にみると、「よく参加する」+「たまに参加する」の回答割合が過半数の地区もある(浜田地区:53.4%、小塩江地区:59.1%、長沼地区:54.9%、岩瀬地区:61.6%)
- 何等か「参加」している回答者では、「町内会(区)の活動」が59.7%で最も高く、次いで「地域の祭りや運動会など」(58.2%)となっている。

問 12 あなたは、地区の催しや行事(コミュニティセンター(公民館)活動等)に参加していますか

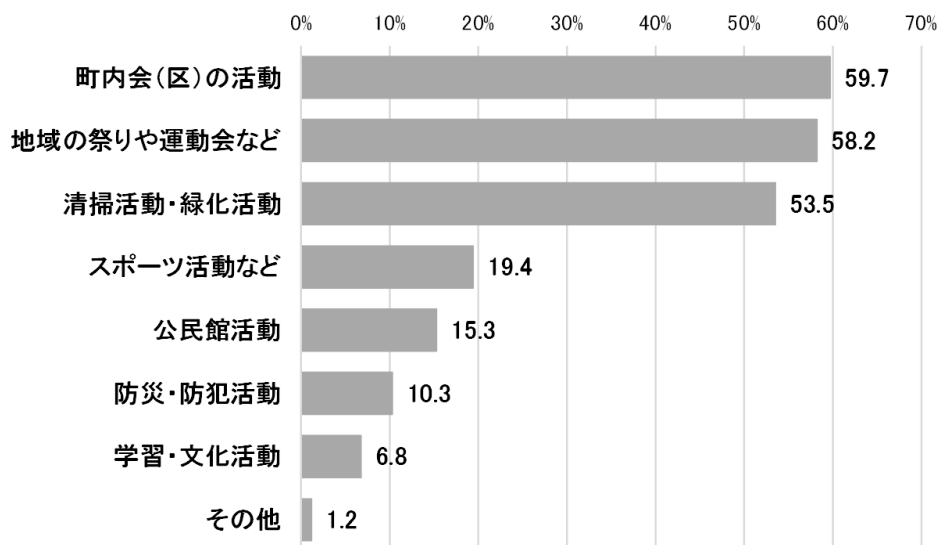


総数	よく参加する	たまに参加する	ほとんど(まったく)参加しない	無回答
767	105	235	419	8
100.0%	13.7%	30.6%	54.6%	1.0%

### <居住地区クロス集計表>

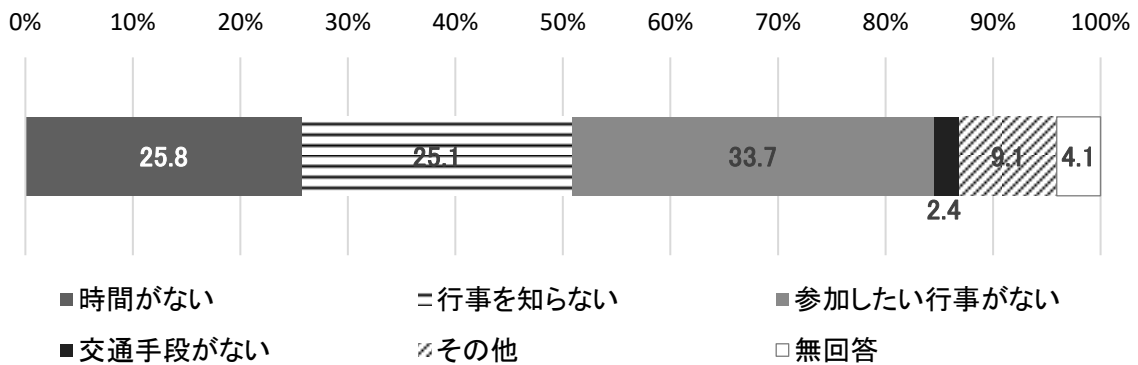
	総数	よく参加する	たまに参加する	ほとんど(まったく)参加しない	無回答
旧市内	276	35	74	162	5
	100.0%	12.7%	26.8%	58.7%	1.8%
浜田地区	34	6	12	16	0
	100.0%	17.6%	35.3%	47.1%	0.0%
西袋地区	113	23	29	60	1
	100.0%	20.4%	25.7%	53.1%	0.9%
稲田地区	39	5	12	22	0
	100.0%	12.8%	30.8%	56.4%	0.0%
小塩江地区	44	5	21	18	0
	100.0%	11.4%	47.7%	40.9%	0.0%
仁井田地区	69	8	21	40	0
	100.0%	11.6%	30.4%	58.0%	0.0%
大東地区	59	3	20	36	0
	100.0%	5.1%	33.9%	61.0%	0.0%
長沼地区	51	11	17	22	1
	100.0%	21.6%	33.3%	43.1%	2.0%
岩瀬地区	55	8	26	21	0
	100.0%	14.5%	47.3%	38.2%	0.0%

問 13 (問 12 で「1」、「2」とお答えの方) あなたは、どのような地区の催しや行事に参加していますか (複数回答)



総数	地域の祭りや運動会など	スポーツ活動など	学習・文化活動	清掃活動・緑化活動	防災・防犯活動	町内会(区)の活動	公民館活動	その他
340	198	66	23	182	35	203	52	4
—	58.2%	19.4%	6.8%	53.5%	10.3%	59.7%	15.3%	1.2%

問 14 (問 12 で「3」とお答えの方) 地区の催しや行事 (コミュニティセンター (公民館) 活動など) に参加されない理由は何ですか

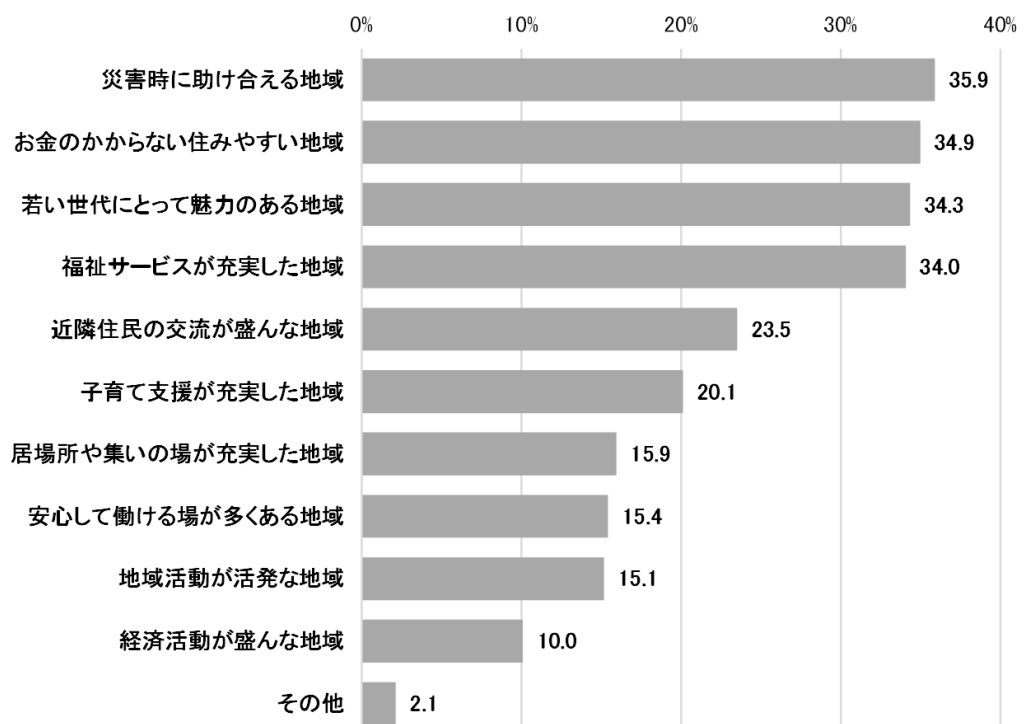


総数	時間がない	行事を知らない	参加したい行事がない	交通手段がない	その他	無回答
419	108	105	141	10	38	17
100.0%	25.8%	25.1%	33.7%	2.4%	9.1%	4.1%

(8) どのような地域にしていきたいか

- 「災害時に助け合える地域」が 35.9%で最も高く、次いで「お金のかからない住みやすい地域」(34.9%)、「若い世代にとって魅力のある地域」(34.3%)となっている。
- 居住地区別にみると最多回答の内容に若干差異がみられる。
- 地域社会に期待する役割については、「災害等緊急事態が起きた時の対応」(71.6%)が最も高くなっている。

問 15 今後、あなたの住んでいる地域がどのような地域になればよいと思いますか (複数回答)



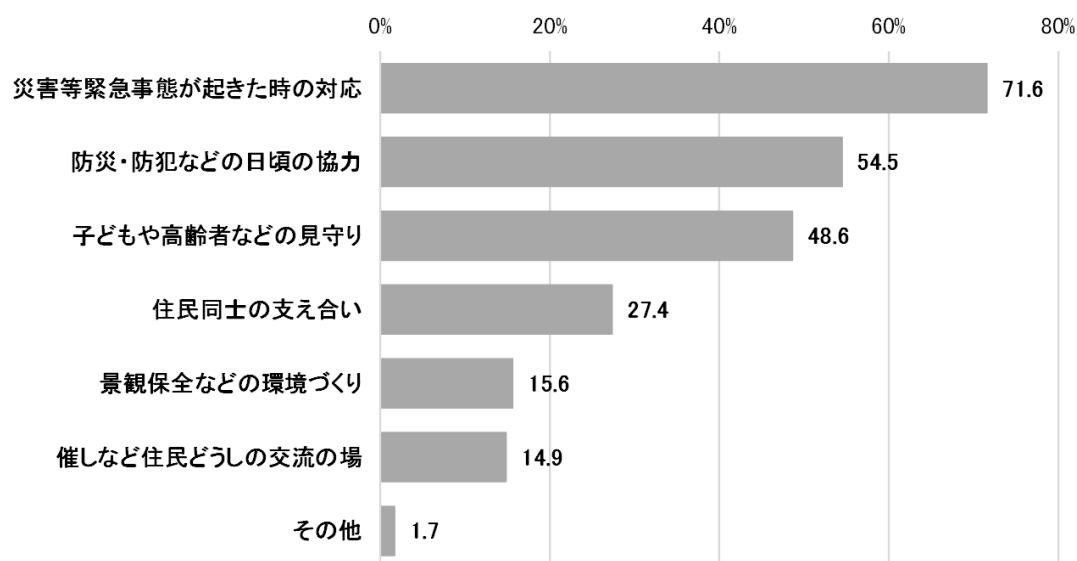


総数	近隣住民の交流が盛んな地域	地域活動が活発な地域	子育て支援が充実した地域	福祉サービスが充実した地域	居場所や集いの場が充実した地域	魅力のある地域	若い世代にとって魅力のある地域	経済活動が盛んな地域	安心して働ける場が多くある地域	お金のかからない住みやすい地域	災害時に助け合える地域	その他	無回答
767	180	116	154	261	122	263	77	118	268	275	16	22	
—	23.5%	15.1%	20.1%	34.0%	15.9%	34.3%	10.0%	15.4%	34.9%	35.9%	2.1%	2.9%	

<居住地区クロス集計表>

	総数	近隣住民の交流が盛んな地域	地域活動が活発な地域	子育て支援が充実した地域	福祉サービスが充実した地域	居場所や集いの場が充実した地域	魅力のある地域	若い世代にとって魅力のある地域	経済活動が盛んな地域	安心して働ける場が多くある地域	お金のかからない住みやすい地域	災害時に助け合える地域	その他	無回答
旧市内	276	71	50	54	86	47	88	29	44	94	100	7	8	
	100.0%	25.7%	18.1%	19.6%	31.2%	17.0%	31.9%	10.5%	15.9%	34.1%	36.2%	2.5%	2.9%	
浜田地区	34	10	6	3	11	5	13	4	4	12	12	1	1	
	100.0%	29.4%	17.6%	8.8%	32.4%	14.7%	38.2%	11.8%	11.8%	35.3%	35.3%	2.9%	2.9%	
西袋地区	113	20	18	18	43	25	42	4	15	29	54	2	2	
	100.0%	17.7%	15.9%	15.9%	38.1%	22.1%	37.2%	3.5%	13.3%	25.7%	47.8%	1.8%	1.8%	
稲田地区	39	13	6	11	15	6	17	2	2	13	13	0	1	
	100.0%	33.3%	15.4%	28.2%	38.5%	15.4%	43.6%	5.1%	5.1%	33.3%	33.3%	0.0%	2.6%	
小塩江地区	44	14	7	10	15	8	16	7	6	15	11	0	0	
	100.0%	31.8%	15.9%	22.7%	34.1%	18.2%	36.4%	15.9%	13.6%	34.1%	25.0%	0.0%	0.0%	
仁井田地区	69	15	5	16	25	6	24	7	9	25	32	1	1	
	100.0%	21.7%	7.2%	23.2%	36.2%	8.7%	34.8%	10.1%	13.0%	36.2%	46.4%	1.4%	1.4%	
大東地区	59	10	6	14	20	5	11	8	11	30	19	3	3	
	100.0%	16.9%	10.2%	23.7%	33.9%	8.5%	18.6%	13.6%	18.6%	50.8%	32.2%	5.1%	5.1%	
長沼地区	51	12	8	9	14	10	19	7	13	19	10	1	3	
	100.0%	23.5%	15.7%	17.6%	27.5%	19.6%	37.3%	13.7%	25.5%	37.3%	19.6%	2.0%	5.9%	
岩瀬地区	55	9	7	15	25	6	27	7	6	18	16	1	0	
	100.0%	16.4%	12.7%	27.3%	45.5%	10.9%	49.1%	12.7%	10.9%	32.7%	29.1%	1.8%	0.0%	

問 16 地域社会の役割について、どのようなことを期待しますか（複数回答）

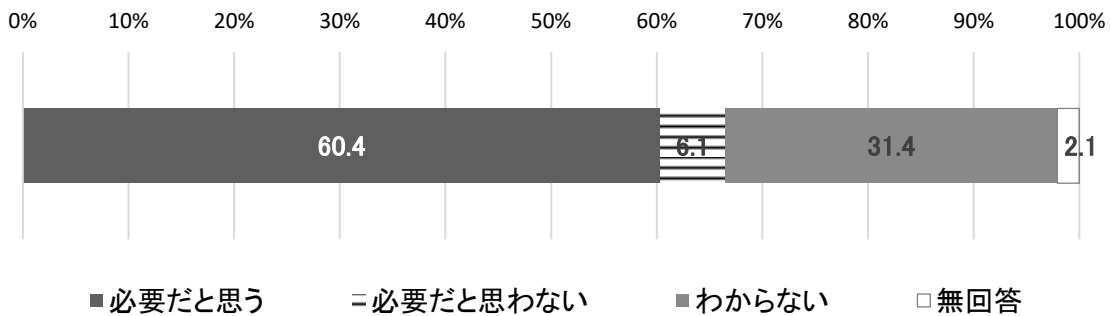


総数	災害等緊急事態が起きた時の対応	防災・防犯などの日頃の協力	子どもや高齢者などの見守り	催しなど住民どうしの交流の場	景観保全などの環境づくり	住民同士の支え合い	その他	無回答
767	549	418	373	114	120	210	13	27
—	71.6%	54.5%	48.6%	14.9%	15.6%	27.4%	1.7%	3.5%

## (9) 地域内の協力について

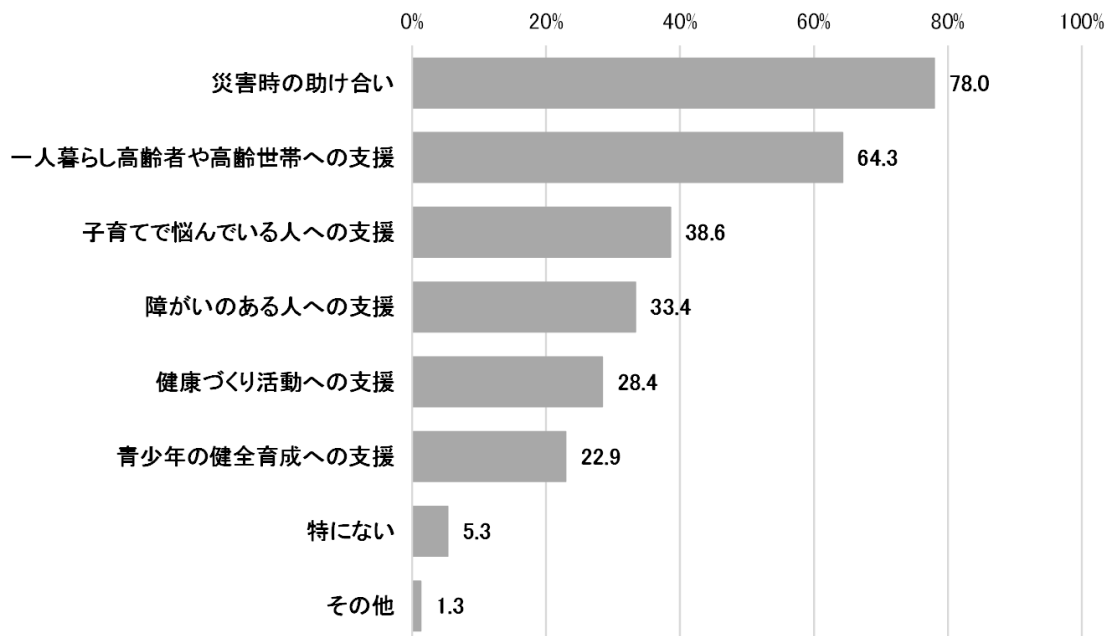
- 「必要だと思う」(60.4%) が最も高くなっている。
- 協力が必要な問題としては、「災害時の助け合い」(78.0%)、「一人暮らし高齢者や高齢世帯への支援」(64.3%) などとなっている。

問 17 あなたは、生活していくうえでの困りごとに対して、地域の人たちが自主的に協力しあう関係が必要だと思いますか



総数	必要だと思う	必要だと思わない	わからない	無回答
767	463	47	241	16
100.0%	60.4%	6.1%	31.4%	2.1%

問 18 あなたは、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが特に必要な問題とは、どのようなことだと思いますか（複数回答）



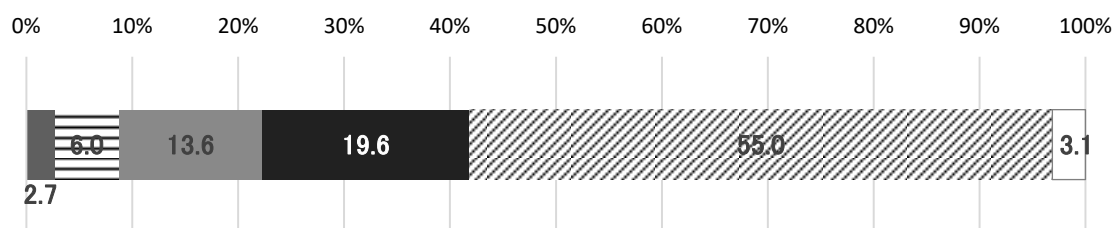
総数	災害時の助け合い	一人暮らし高齢者や高齢世帯への支援	障がいのある人への支援	子育てで悩んでいる人への支援	青少年の健全育成への支援	健康づくり活動への支援	特にない	その他	無回答
767	598	493	256	296	176	218	41	10	17
—	78.0%	64.3%	33.4%	38.6%	22.9%	28.4%	5.3%	1.3%	2.2%

### 3 ボランティア活動等への参加について

#### (1) ボランティア活動等への参加状況

- 「参加したことがない」が55.0%で回答者の過半数を占めている。
- 居住地区別にみると何らかの「参加」経験がある回答割合が高かったのは、西袋地区、小塩江地区、長沼地区となっている。
- 「参加」した内容についてしてみると、「環境美化に関する活動」(57.3%)が最も高く、参加にあたっての問題点としては「一緒に活動する参加者が少ない」(35.1%)などとなっている。

#### 問 19 あなたはボランティア活動等に参加していますか



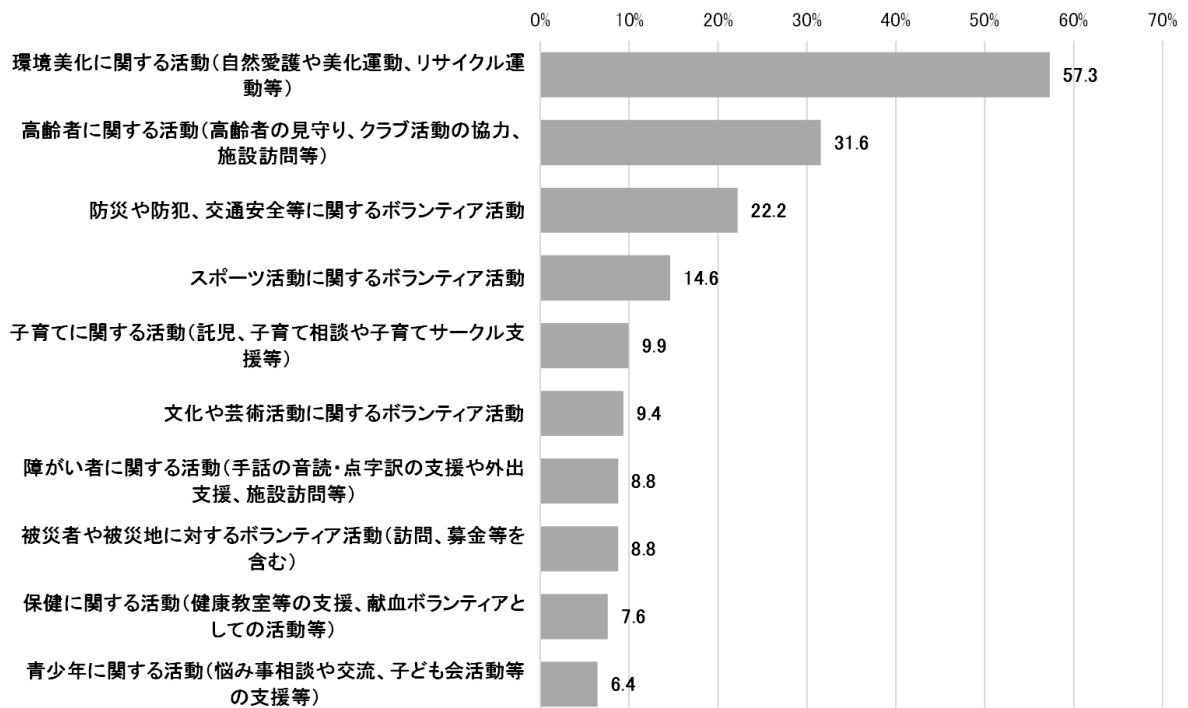
- 現在、週1回以上参加している
- ▨ 現在、月1回以上参加している
- 現在、年に1～数回参加している
- 1年以上参加していないが、以前に参加したことがある
- ▨ 参加したことがない
- 無回答

総数	現在、週1回以上参加している	現在、月1回以上参加している	現在、年に1～数回参加している	1年以上参加していないが、以前に参加したことがある	参加したことがない	無回答
767	21	46	104	150	422	24
100.0%	2.7%	6.0%	13.6%	19.6%	55.0%	3.1%

<居住地区クロス集計表>

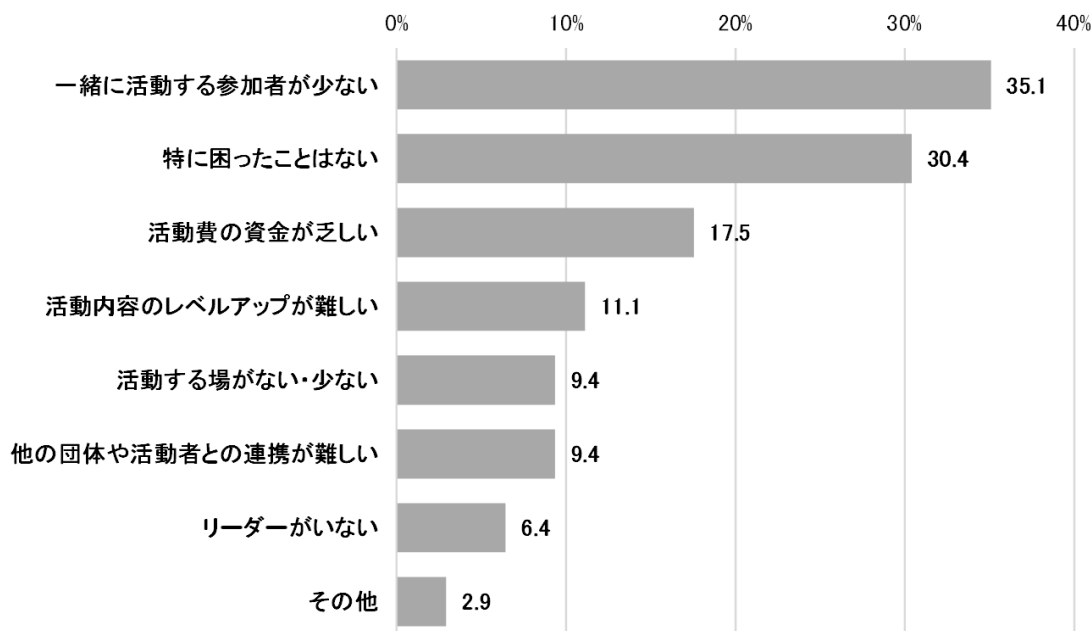
	総数	現在、週1回以上参加している	現在、月1回以上参加している	現在、年に1～数回参加している	1年以上参加していないが、以前に参加したことがある	参加したことがない	無回答
旧市内	276	10	15	29	54	162	6
	100.0%	3.6%	5.4%	10.5%	19.6%	58.7%	2.2%
浜田地区	34	0	4	4	7	19	0
	100.0%	0.0%	11.8%	11.8%	20.6%	55.9%	0.0%
西袋地区	113	8	12	12	23	52	6
	100.0%	7.1%	10.6%	10.6%	20.4%	46.0%	5.3%
稲田地区	39	0	2	9	2	24	2
	100.0%	0.0%	5.1%	23.1%	5.1%	61.5%	5.1%
小塩江地区	44	0	2	10	10	21	1
	100.0%	0.0%	4.5%	22.7%	22.7%	47.7%	2.3%
仁井田地区	69	1	6	7	15	40	0
	100.0%	1.4%	8.7%	10.1%	21.7%	58.0%	0.0%
大東地区	59	0	1	11	10	36	1
	100.0%	0.0%	1.7%	18.6%	16.9%	61.0%	1.7%
長沼地区	51	0	2	10	16	22	1
	100.0%	0.0%	3.9%	19.6%	31.4%	43.1%	2.0%
岩瀬地区	55	2	0	12	9	29	3
	100.0%	3.6%	0.0%	21.8%	16.4%	52.7%	5.5%

問 20 (問 19で「1」、「2」、「3」とお答えの方) どのような活動をされましたか (複数回答)



総数	高齢者に関する活動 高齢者の見守り、クラブ活動の協力、施設訪問等	障がい者に関する活動 手話の音読・点字訳の支援や外出支援、施設訪問等	子育てに関する活動 託児、子育て相談や子育てサークル支援等	保健に関する活動 健康教室等の支援、献血ボランティアとしての活動等	青少年に関する活動 悩み事相談や交流、子ども会活動等の支援等	環境美化に関する活動(自然愛護や美化運動、リサイクル運動等)	文化や芸術活動に関するボランティア活動	スポーツ活動に関するボランティア活動	防災や防犯、交通安全等に関するボランティア活動	被災者や被災地に対するボランティア活動(訪問、募金等を含む)	その他	無回答
171	54	15	17	13	11	98	16	25	38	15	11	1
—	31.6%	8.8%	9.9%	7.6%	6.4%	57.3%	9.4%	14.6%	22.2%	8.8%	6.4%	0.6%

問 21 (問 19 で「1」、「2」、「3」とお答えの方) 活動に参加する中で、困ったことや苦労したことはありますか (複数回答)

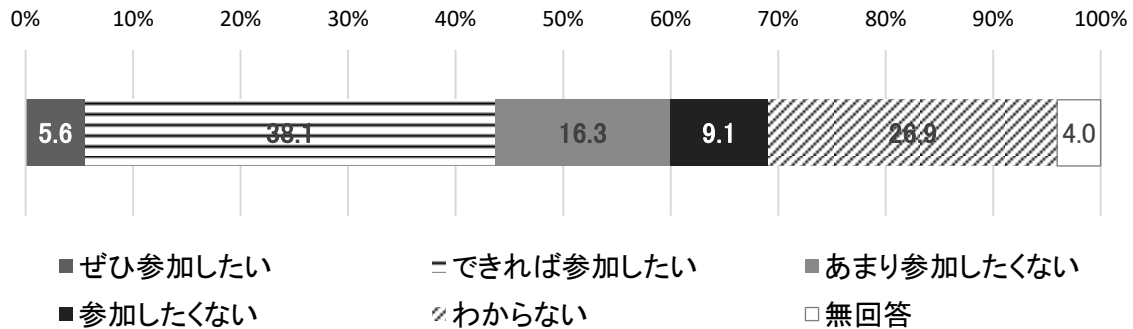


総数	一緒に活動する参加者が少ない	活動費の資金が乏しい	活動する場がない・少ない	リーダーがいない	活動内容のレベルアップが難しい	他の団体や活動者との連携が難しい	特に困ったことはない	その他	無回答
171	60	30	16	11	19	16	52	5	20
—	35.1%	17.5%	9.4%	6.4%	11.1%	9.4%	30.4%	2.9%	11.7%

## (2) 今後のボランティア活動等への参加意向

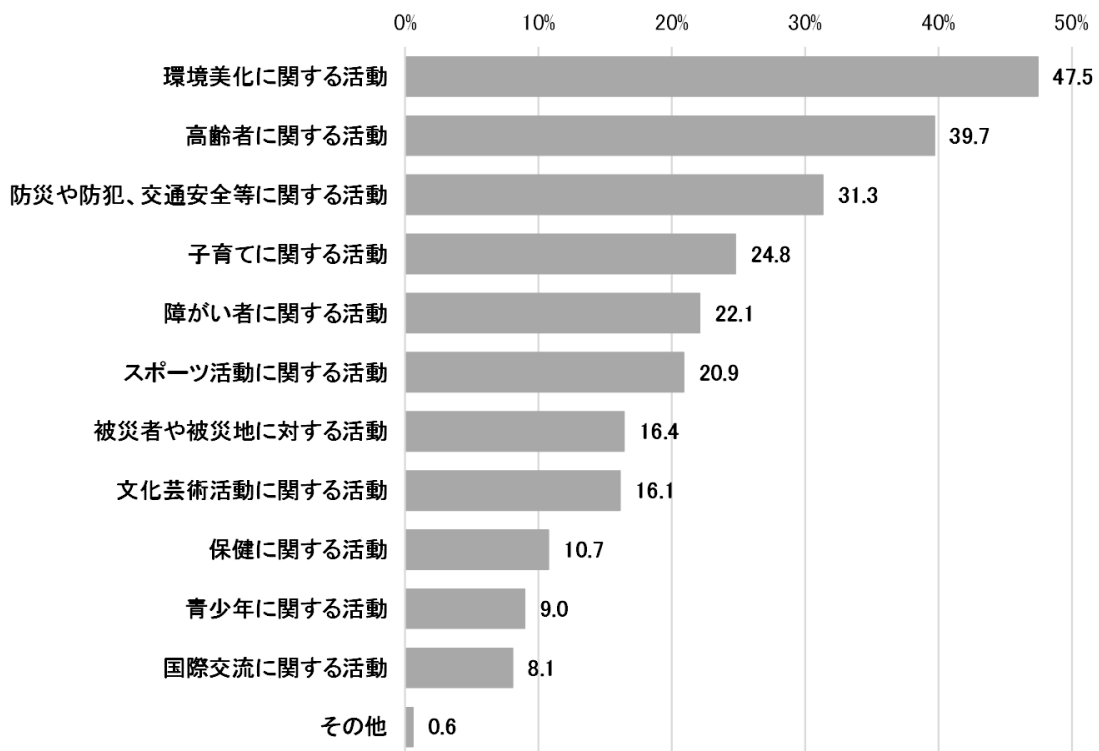
- 「できれば参加したい」が38.1%で最も高く、次いで「わからない」(26.9%)となっており、「参加」意向のある場合の活動内容としては、「環境美化に関する活動」(47.5%)が最も高くなっている。
- 参加が難しい場合の理由については、「体力的に参加することが難しい」(36.9%)、「時間がない」(34.4%)、「自分の趣味や自由な時間を優先したい」(34.4%)などとなっている。

### 問 22 今後、あなたはボランティア活動に参加したいと思いますか



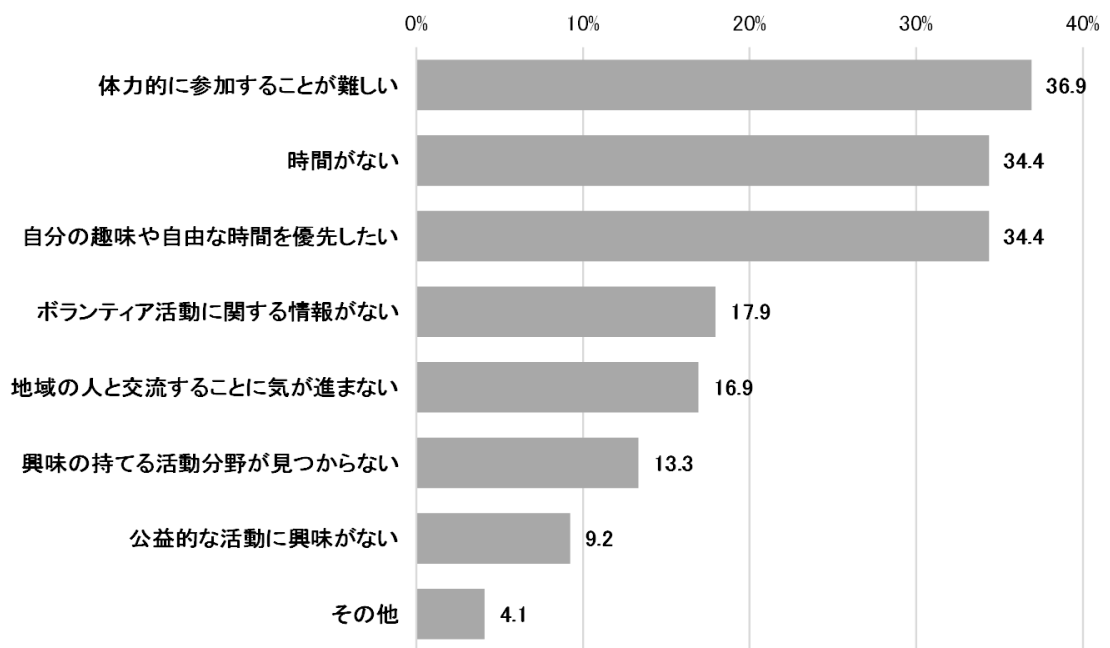
総数	ぜひ参加したい	できれば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	わからない	無回答
767	43	292	125	70	206	31
100.0%	5.6%	38.1%	16.3%	9.1%	26.9%	4.0%

### 問 23 (問 22 で「1」、「2」とお答えの方) どのような活動に参加したいですか



総数	高齢者に関する活動	障がい者に関する活動	子育てに関する活動	保健に関する活動	青少年に関する活動	環境美化に関する活動	文化芸術活動に関する活動	スポーツ活動に関する活動	防災や防犯、交通安全等に関する活動	被災者や被災地に対する活動	国際交流に関する活動	その他	無回答
335	133	74	83	36	30	159	54	70	105	55	27	2	8
—	39.7%	22.1%	24.8%	10.7%	9.0%	47.5%	16.1%	20.9%	31.3%	16.4%	8.1%	0.6%	2.4%

問 24 (問 22 で「3」、「4」とお答えの方) 参加できない、参加したくない理由はなんですか (複数回答)



総数	時間がない	ボランティア活動に関する情報がない	地域の人と交流することに気が進まない	公益的な活動に興味がない	興味を持てる活動分野が見つからない	自分の趣味や自由な時間を優先したい	体力的に参加することが難しい	その他	無回答
195	67	35	33	18	26	67	72	8	6
—	34.4%	17.9%	16.9%	9.2%	13.3%	34.4%	36.9%	4.1%	3.1%

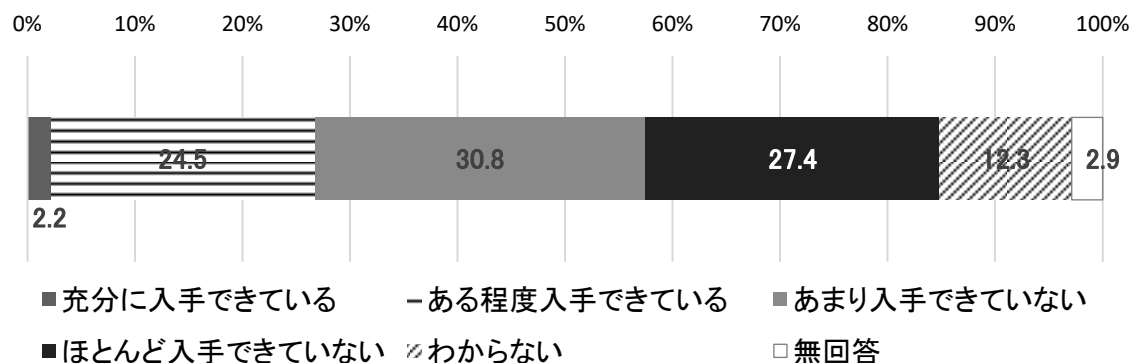


## 4 福祉サービス全般について

### (1) 福祉サービスに関する情報入手について

- 「あまり入手できていない」が30.8%で最も高く、次いで「ほとんど入手できていない」(27.4%)となっており、情報が入手できていない回答者が過半数を占めている。
- 居住地区別にみると、「ある程度入手できている」という回答割合が比較的高い地区もある。(浜田地区：35.3%、稲田地区：35.9%)

問 25 あなたは、福祉サービスに関する情報をどの程度入手できていると思いますか



総数	十分に入手できている	ある程度入手できている	あまり入手できていない	ほとんど入手できていない	わからない	無回答
767	17	188	236	210	94	22
100.0%	2.2%	24.5%	30.8%	27.4%	12.3%	2.9%

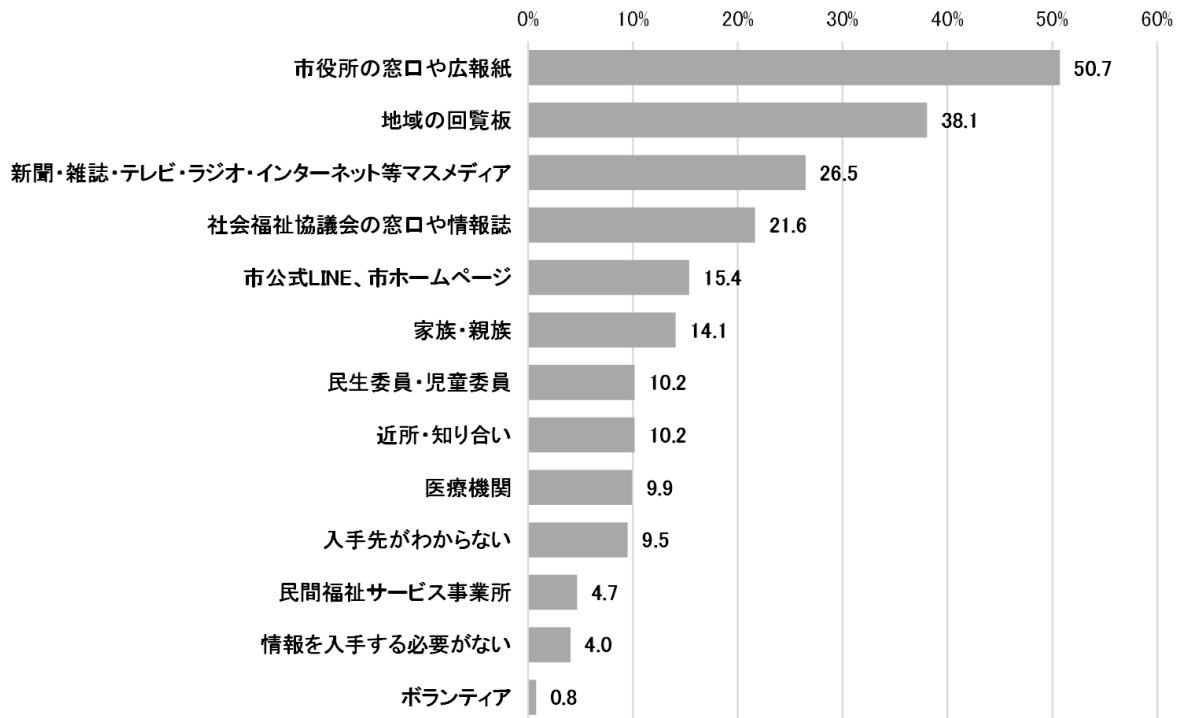
#### <居住地区クロス集計表>

	総数	十分に入手できている	ある程度入手できている	あまり入手できていない	ほとんど入手できていない	わからない	無回答
旧市内	276	10	75	76	74	33	8
	100.0%	3.6%	27.2%	27.5%	26.8%	12.0%	2.9%
浜田地区	34	0	12	9	10	3	0
	100.0%	0.0%	35.3%	26.5%	29.4%	8.8%	0.0%
西袋地区	113	3	31	37	25	13	4
	100.0%	2.7%	27.4%	32.7%	22.1%	11.5%	3.5%
稲田地区	39	0	14	8	10	5	2
	100.0%	0.0%	35.9%	20.5%	25.6%	12.8%	5.1%
小塩江地区	44	2	12	11	13	5	1
	100.0%	4.5%	27.3%	25.0%	29.5%	11.4%	2.3%
仁井田地区	69	0	15	25	22	7	0
	100.0%	0.0%	21.7%	36.2%	31.9%	10.1%	0.0%
大東地区	59	0	8	22	17	11	1
	100.0%	0.0%	13.6%	37.3%	28.8%	18.6%	1.7%
長沼地区	51	1	11	18	15	6	0
	100.0%	2.0%	21.6%	35.3%	29.4%	11.8%	0.0%
岩瀬地区	55	1	6	26	14	6	2
	100.0%	1.8%	10.9%	47.3%	25.5%	10.9%	3.6%
無回答	27	0	4	4	10	5	4
	100.0%	0.0%	14.8%	14.8%	37.0%	18.5%	14.8%

## (2) 福祉サービスに関する情報の入手先

- 「市役所の窓口や広報紙」が50.7%で最も高く、次いで「地域の回覧板」(38.1%)となっている。

問 26 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか  
(複数回答)

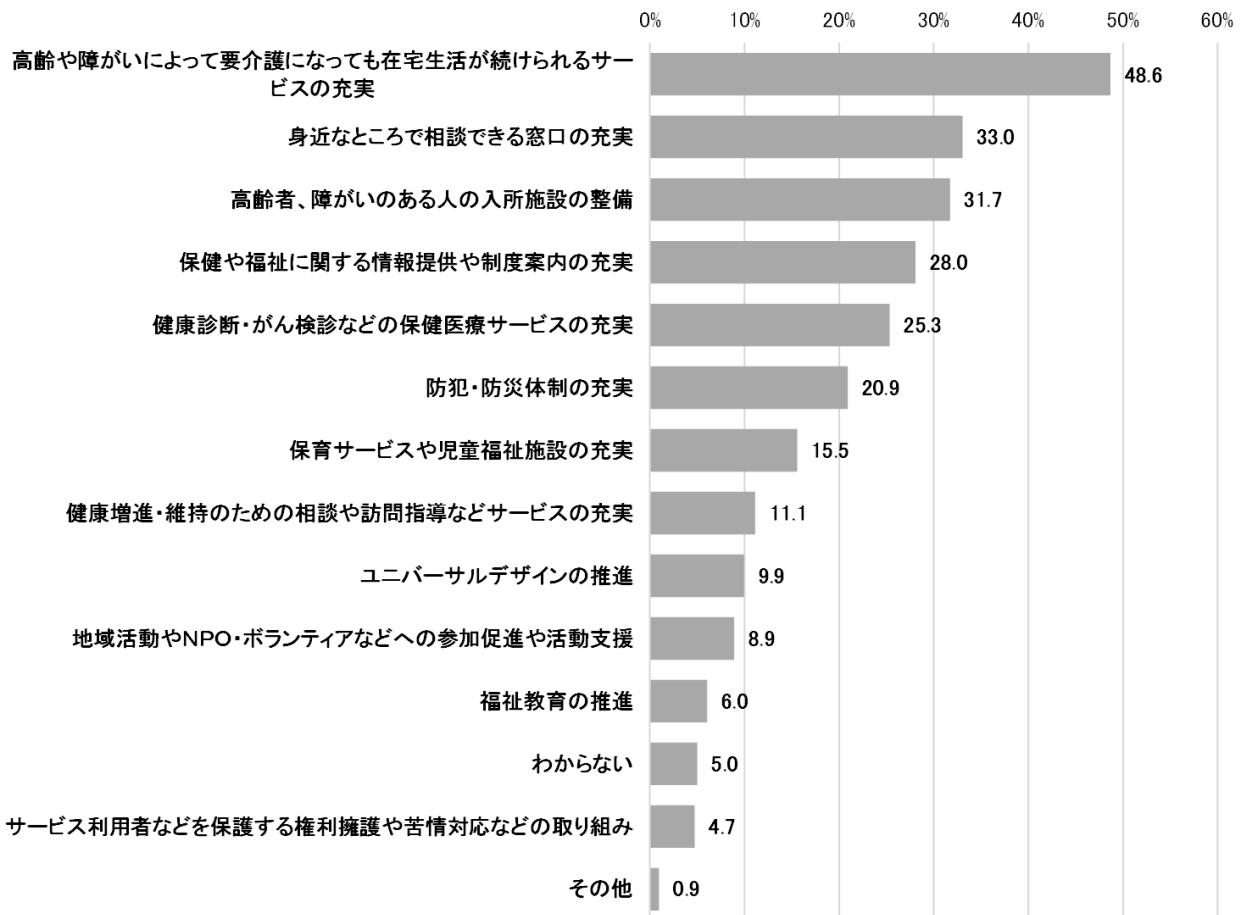


総数	市役所の窓口や広報紙	市公式LINE、市ホームページ	社会福祉協議会の窓口や情報誌	民生委員・児童委員	ボランティア	民間福祉サービス事業所	医療機関	家族・親族	近所・知り合い	地域の回覧板	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット等	入手先がわからない	情報を入手する必要がある	その他	無回答
767	389	118	166	78	6	36	76	108	78	292	203	73	31	6	23
—	50.7%	15.4%	21.6%	10.2%	0.8%	4.7%	9.9%	14.1%	10.2%	38.1%	26.5%	9.5%	4.0%	0.8%	3.0%

### (3) 地域福祉を進めるために取り組むべき施策

- 「高齢や障がいによって要介護になっても在宅生活が続けられるサービスの充実」が48.6%で最も高く、次いで「身近なところで相談できる窓口の充実」(33.0%)となっている。

問 27 今後、地域での福祉を進めるために市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか（複数回答）



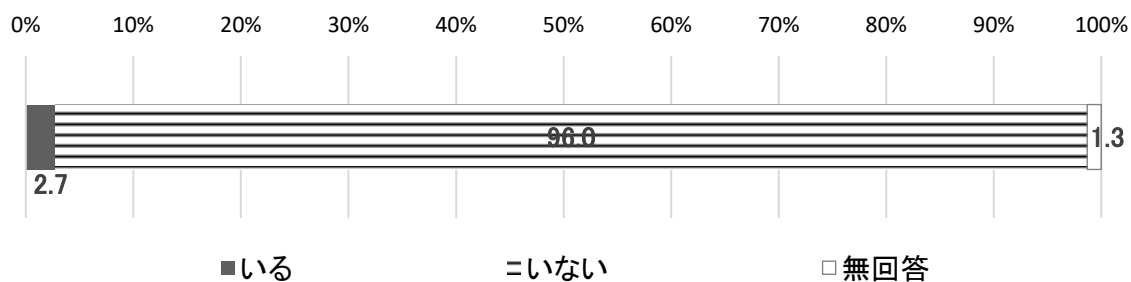
総数	地域活動やNPO・ボランティアなどへの参加促進や活動支援	高齢や障がいによって要介護になっても在宅生活が続けられるサービスの充実	保健や福祉に関する情報提供や制度案内の充実	健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み	身近なところで相談できる窓口の充実	高齢者、障がいのある人の入所施設の整備	保育サービスや児童福祉施設の充実	福祉教育の推進	ユニバーサルデザインの推進	防犯・防災体制の充実	わからない	その他	無回答
767	68	373	215	85	194	36	253	243	119	46	76	160	38	7	13
—	8.9%	48.6%	28.0%	11.1%	25.3%	4.7%	33.0%	31.7%	15.5%	6.0%	9.9%	20.9%	5.0%	0.9%	1.7%

## 5 「ひきこもり」についておたずねします

### (1) 「ひきこもり」の有無

- 「いる」が2.7%、「いない」が96.0%となっている。

問 28 あなた自身を含めたご家族の中で、6カ月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方はいらっしゃいますか



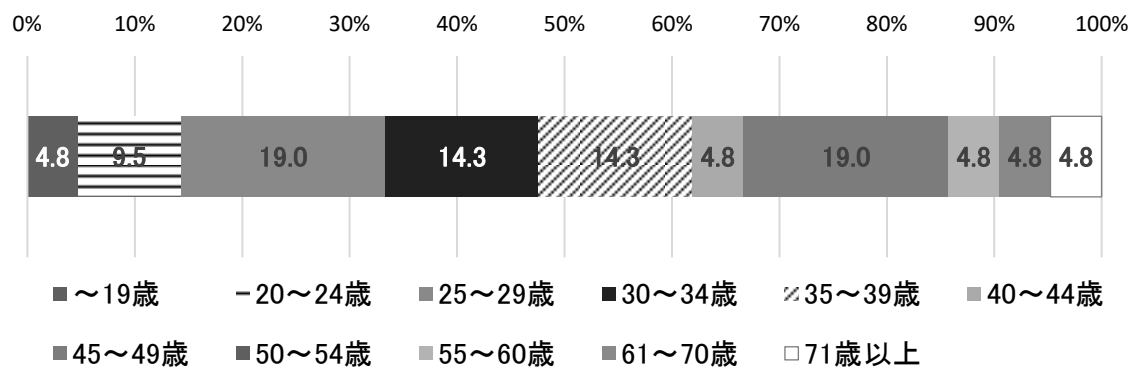
総数	いる	いない	無回答
767	21	736	10
100.0%	2.7%	96.0%	1.3%

### (2) 「ひきこもり」の方の状況

#### ①年齢

- 「25～29歳」(19.0%)、「45～49歳」(19.0%)が高くなっている。

問 29 その方の年齢は次のどれですか

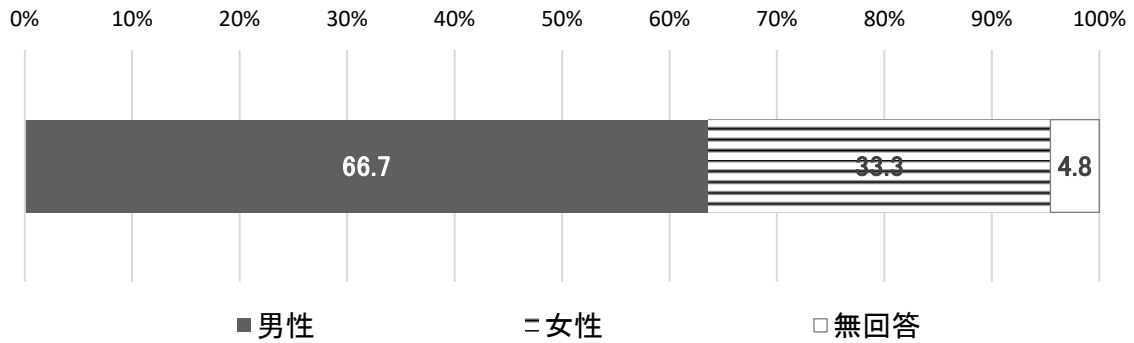


総数	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～60歳	61～70歳	71歳以上
21	1	2	4	3	3	1	4	0	1	1	1
100.0%	4.8%	9.5%	19.0%	14.3%	14.3%	4.8%	19.0%	0.0%	4.8%	4.8%	4.8%

## ②性別

- 「男性」 66.7%、「女性」 33.3%となっている。

問 30 その方の性別はどちらですか

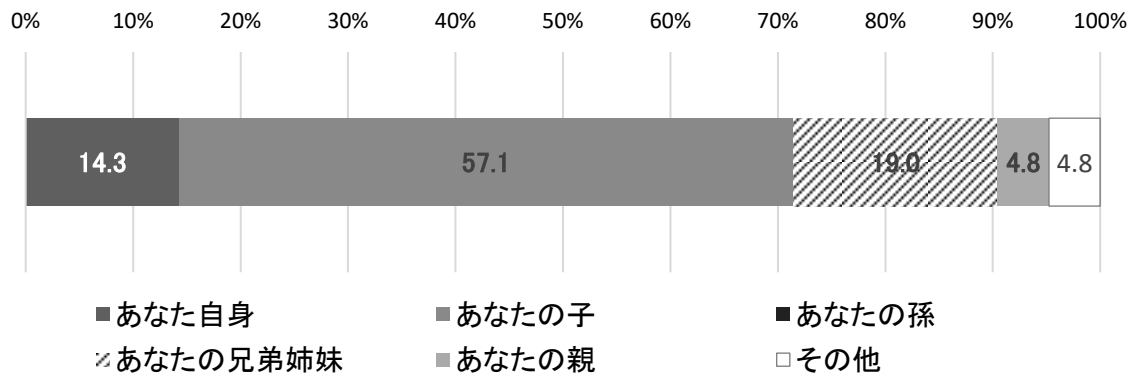


総数	男性	女性	無回答
21	14	7	1
100.0%	66.7%	33.3%	4.8%

## ③続柄

- 「あなた (回答者) の子」が 57.1%で最も高く、次いで「あなたの兄弟姉妹」(19.0%)となっている。

問 31 その方は、次のうちどなたですか

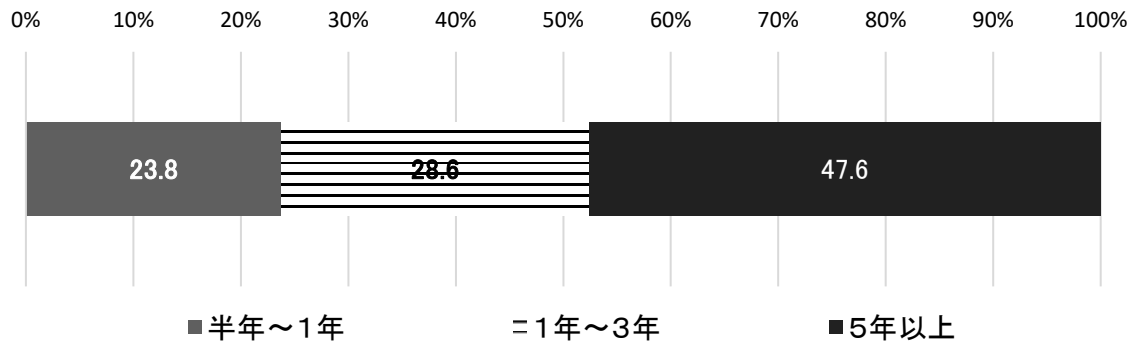


総数	あなた自身	あなたの子	あなたの兄弟姉妹	あなたの親	その他
21	3	12	4	1	1
100.0%	14.3%	57.1%	19.0%	4.8%	4.8%

#### ④経過年数

- 「5年以上」が47.6%で最も高く、次いで「1年～3年」(28.6%)となっている。

問 32 その方がひきこもりの状態になられてから、どれくらい経ちますか

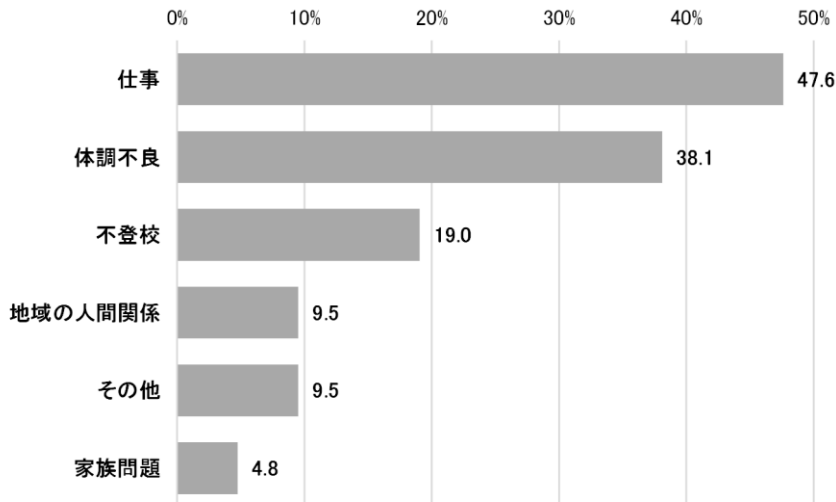


総数	半年～1年	1年～3年	5年以上
21	5	6	10
100.0%	23.8%	28.6%	47.6%

#### ⑤原因

- 「仕事」が47.6%で最も高く、次いで「体調不良」(38.1%)となっている。

問 33 その方のひきこもりの原因はなんですか (複数回答)

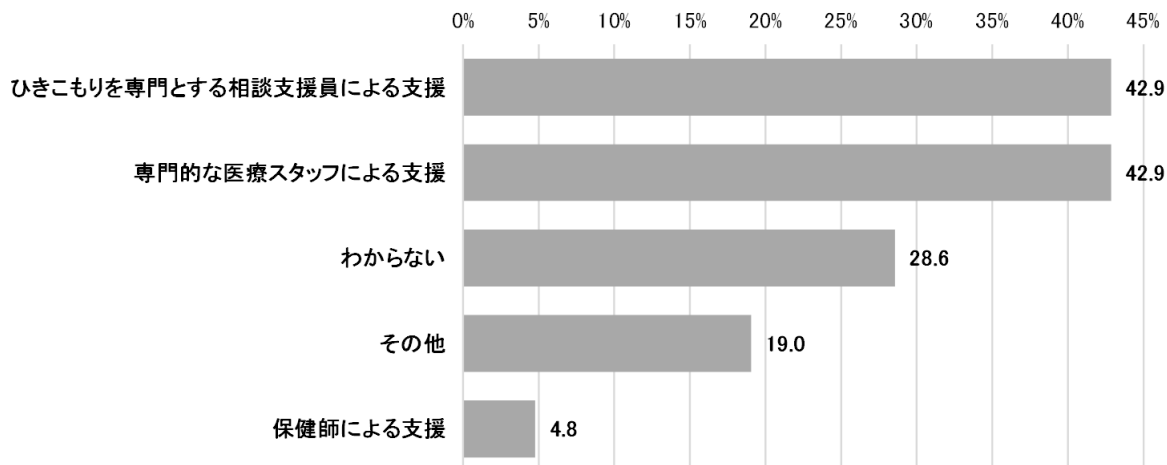


総数	不登校	仕事	家族問題	体調不良	地域の人間関係	その他
21	4	10	1	8	2	2
—	19.0%	47.6%	4.8%	38.1%	9.5%	9.5%

## ⑥必要な支援策

- 「ひきこもりを専門とする相談支援員による支援」(42.9%)、「専門的な医療スタッフによる支援」(42.9%) などとなっている。

問 34 今後、その方がひきこもりの状況から踏み出すために、必要な福祉の支援はなんだと思いますか（複数回答）



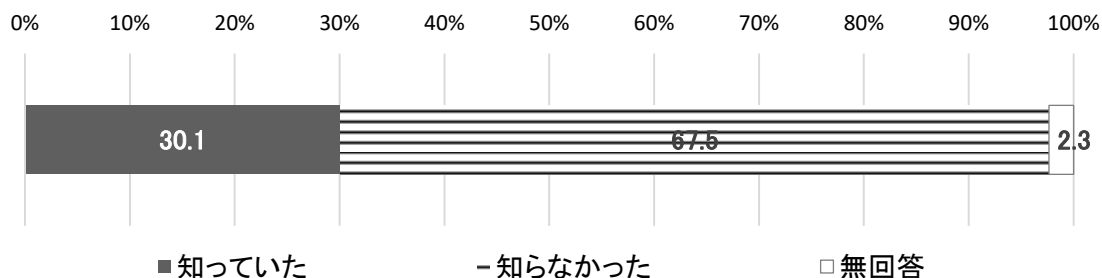
総数	ひきこもりを専門とする相談支援員による支援	保健師による支援	専門的な医療スタッフによる支援	その他	わからない	無回答
21	9	1	9	4	6	1
—	42.9%	4.8%	42.9%	19.0%	28.6%	4.8%

## 6 災害時の対応及び避難行動要支援者支援制度について

### (1) 取組の認知度

- 「知らなかった」が67.5%で、「知っていた」(30.1%)を大きく上回っている。

問 35 あなたはこの取り組みを知っていましたか

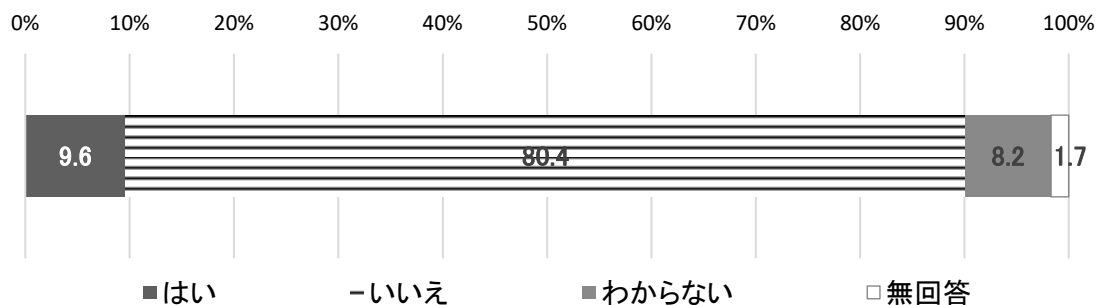


総数	知っていた	知らなかった	無回答
767	231	518	18
100.0%	30.1%	67.5%	2.3%

### (2) 緊急時、避難所への誘導などの必要性

- 「いいえ」が80.4%で、「はい」(9.6%)を大きく上回っている。

問 36 あなたは災害などの緊急時に、避難所への誘導など手助けが必要ですか



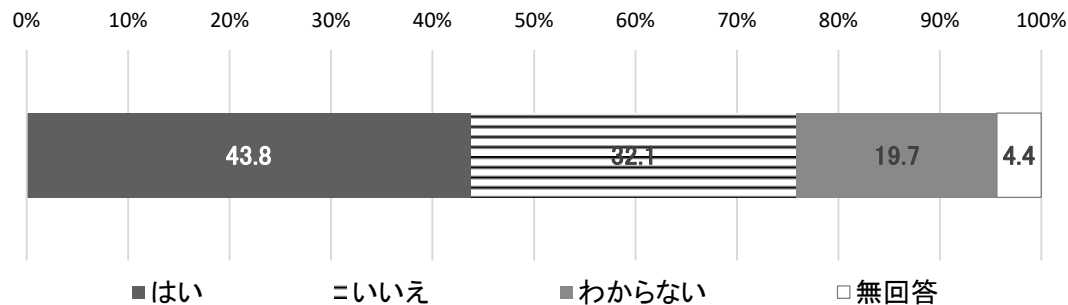
総数	はい	いいえ	わからない	無回答
767	74	617	63	13
100.0%	9.6%	80.4%	8.2%	1.7%



### (3) 緊急時、手助けを頼める方の有無

- 「はい」 43.8%、「いいえ」 32.1%となっている。

問 37 (問 36 で「1 はい」、「3 わからない」とお答えの方) 手助けを頼める方はいますか

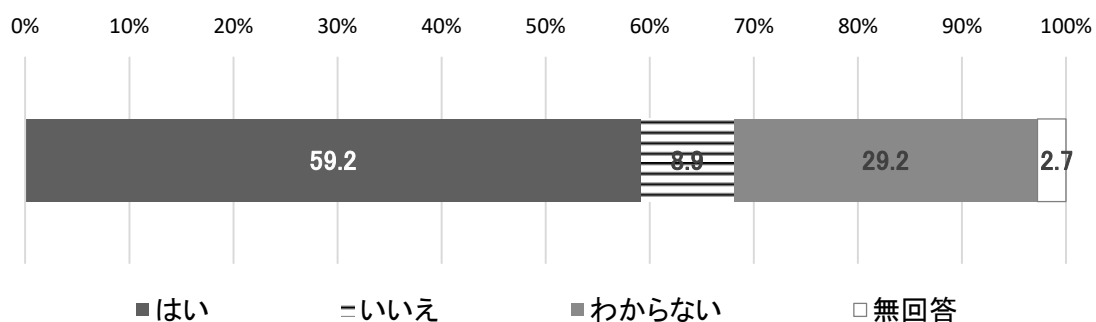


総数	はい	いいえ	わからない	無回答
137	60	44	27	6
100.0%	43.8%	32.1%	19.7%	4.4%

### (4) 緊急時、周囲への手助けの可否

- 「はい」 59.2%、「いいえ」 8.9%となっており、「わからない」 (29.2%) も回答者の 3 割程度を占めている。

問 38 災害などの緊急時に自分の安全を確保したうえで、周りに高齢者世帯や障がいのある人などがいた場合、その方の避難等の手助けができますか

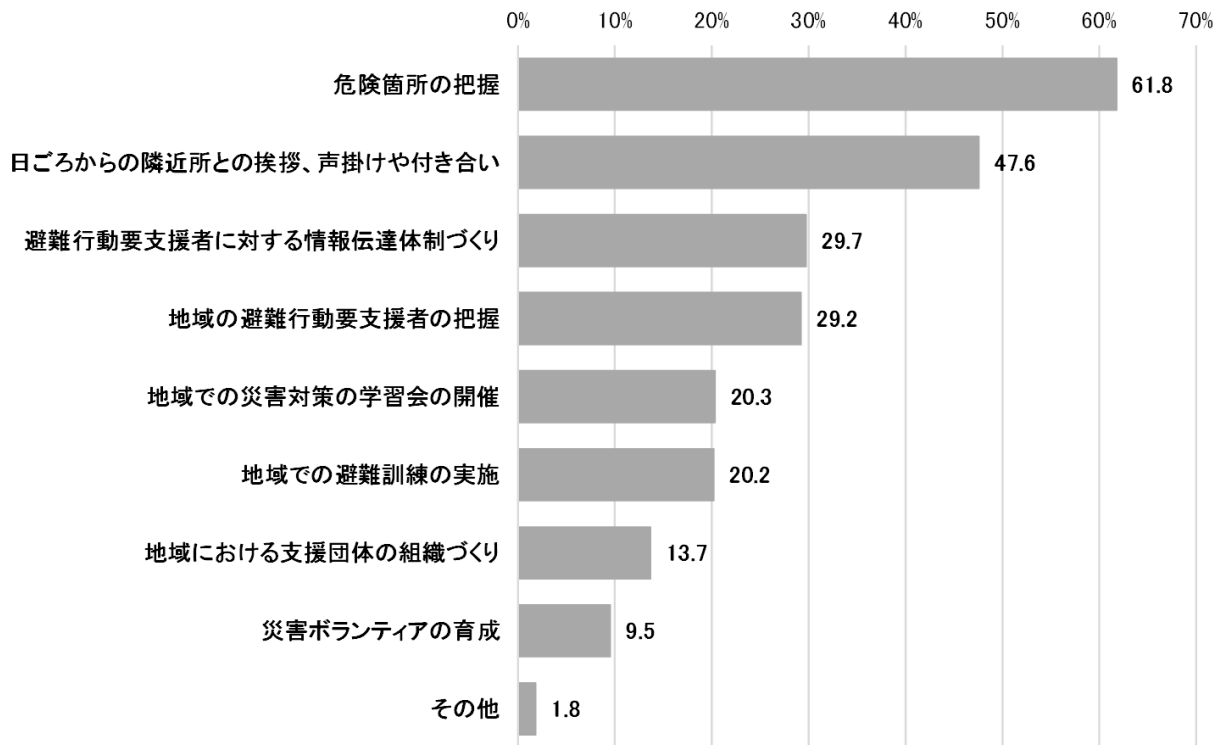


総数	はい	いいえ	わからない	無回答
767	454	68	224	21
100.0%	59.2%	8.9%	29.2%	2.7%

## (5) 災害発生前の備え

- 「危険箇所の把握」が61.8%で最も高く、次いで「日ごろからの隣近所との挨拶、声掛けや付き合い」(47.6%)となっている。

問 39 地震や台風などの災害発生前の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか  
(複数回答)



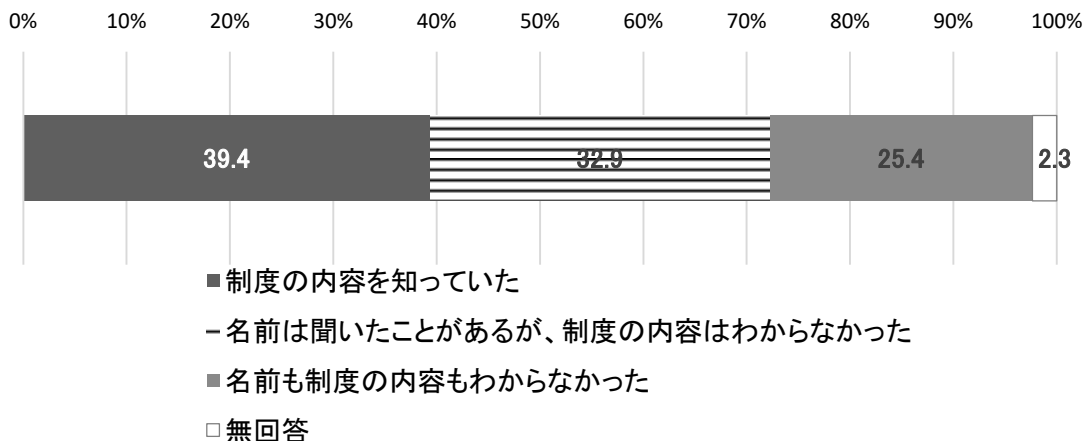
総数	地域での災害対策の学習会の開催	日ごろからの隣近所との挨拶、声掛けや付き合い	地域での避難訓練の実施	危険箇所の把握	地域における支援団体の組織づくり	地域の避難行動要支援者の把握	避難行動要支援者に対する情報伝達体制づくり	災害ボランティアの育成	その他	無回答
767	156	365	155	474	105	224	228	73	14	28
—	20.3%	47.6%	20.2%	61.8%	13.7%	29.2%	29.7%	9.5%	1.8%	3.7%

## 7 成年後見制度について

### (1) 制度の認知度

- 「制度の内容を知っていた」が39.4%、「名前は聞いたことがあるが、制度の内容はわからなかった」が32.9%で回答者の7割強は認知している。

問 40 あなたは、成年後見制度をご存じですか

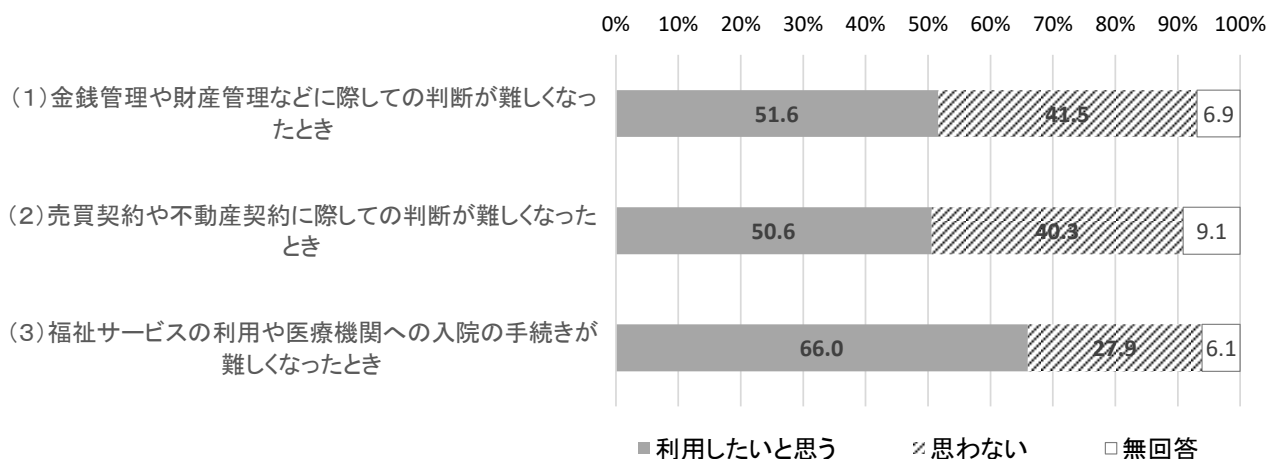


総数	制度の内容を知っていた	名前は聞いたことがあるが、制度の内容はわからなかった	名前も制度の内容もわからなかった	無回答
767	302	252	195	18
100.0%	39.4%	32.9%	25.4%	2.3%

### (2) 制度の利用意向

- 「福祉サービスの利用や医療機関への入院手続きが難しくなったとき」の利用意向が66.0%で最も高いが、他のケースでも制度の利用意向は過半数を占めている。

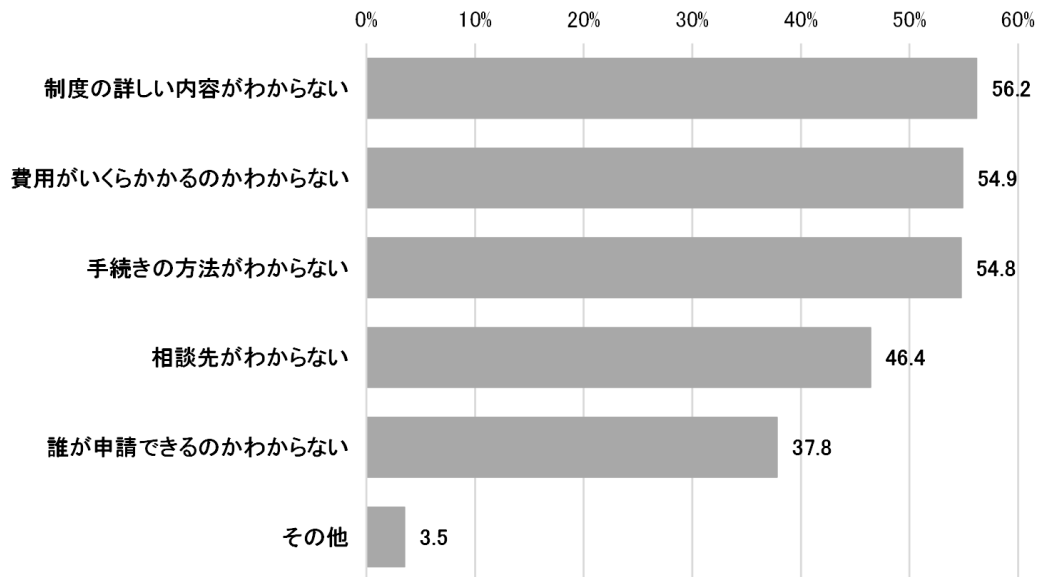
問 41 あなた、もしくはあなたの家族が次のような状態になった際に、成年後見制度を利用したいと思いますか



### (3) 制度利用にあたっての困りごと

- 「制度の詳しい内容がわからない」が56.2%で最も高く、次いで「費用がいくらかかるのかわからない」(54.9%)、「手続きの方法がわからない」(54.8%)などとなっている。

問 42 成年後見制度を利用したいと思ったとき、どのようなことで困ると思いますか  
(複数回答)



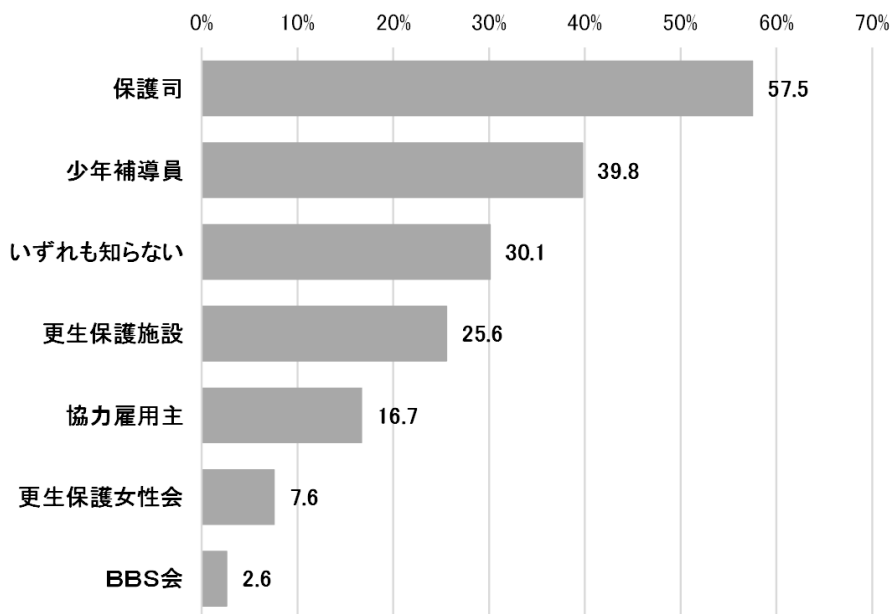
総数	制度の詳しい内容がわからない	誰が申請できるのかわからない	手続きの方法がわからない	費用がいくらかかるのかわからない	相談先がわからない	その他	無回答
767	431	290	420	421	356	27	76
—	56.2%	37.8%	54.8%	54.9%	46.4%	3.5%	9.9%

## 8 再犯防止の取り組みについて

### (1) 再犯防止協力者の認知度

- 「保護司」が57.5%で最も高くなっている。

問 43 再犯防止に協力する民間協力者として、次のような方々がいることを知っていましたか（複数回答）

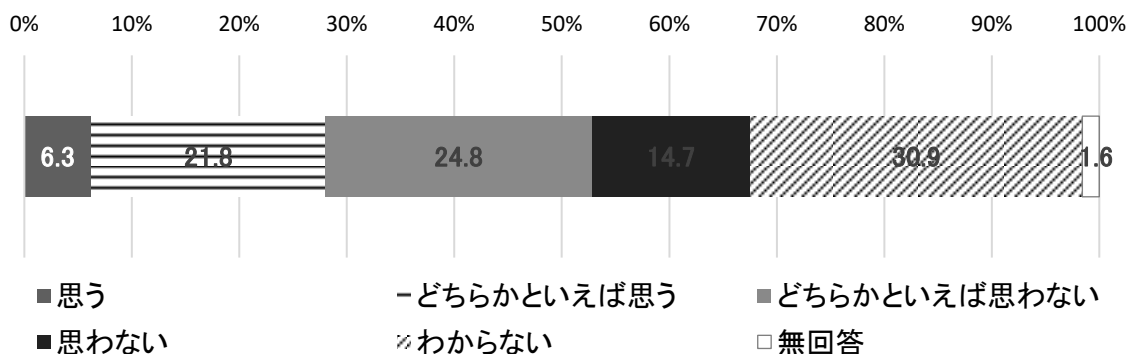


総数	保護司	更生保護女性会	協力雇用主	BBS会	更生保護施設	少年補導員	いずれも知らない	無回答
767	441	58	128	20	196	305	231	25
—	57.5%	7.6%	16.7%	2.6%	25.6%	39.8%	30.1%	3.3%

### (2) 再犯防止への協力意向

- 「思う」(6.3%) 及び「どちらかといえば思う」(29.9%) で3割強となっており、「思わない」+「どちらかといえば思わない」=39.5%をやや下回っている。

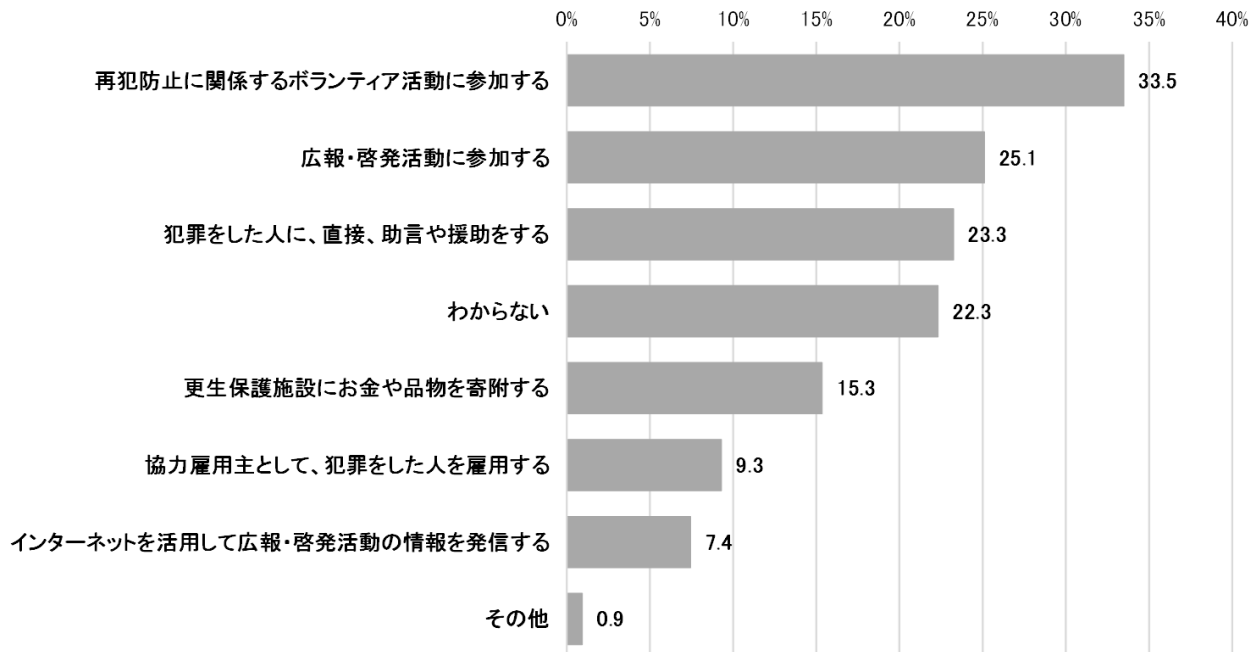
問 44 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか



総数	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	わからない	無回答
767	48	167	190	113	237	12
100.0%	6.3%	21.8%	24.8%	14.7%	30.9%	1.6%

- 協力意向のある場合の内容については、「再犯防止に関係するボランティア活動に参加する」(33.5%) が最も高く、次いで「広報・啓発活動に参加する」(25.1%)、「犯罪をした人に、直接、助言や援助をする」(23.3%) などとなっている。

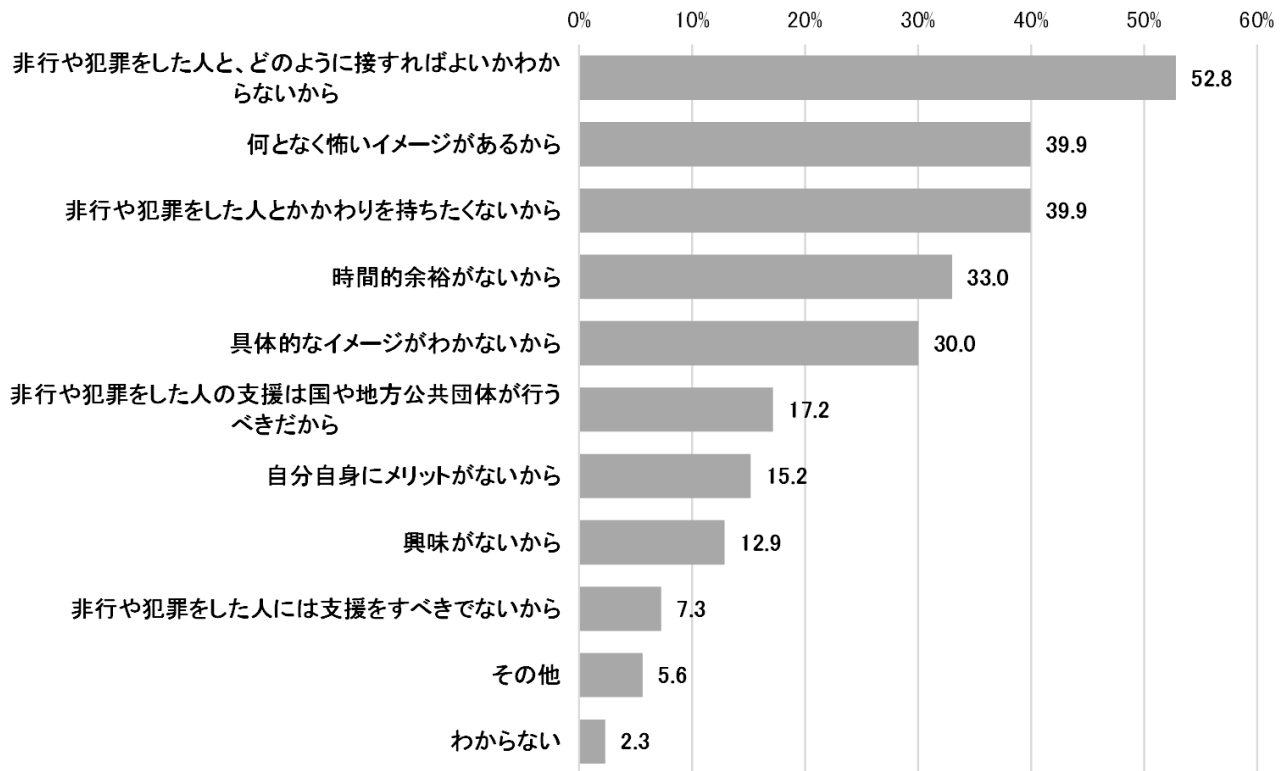
問 45 (問 44 で「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」とお答えの方) どのような協力をしたいと思いますか (複数回答)



総数	犯罪をした人に、直接、助言や援助をする	協力雇用主として、犯罪をした人を雇用する	更生保護施設にお金や品物を寄附する	再犯防止に関係するボランティア活動に参加する	広報・啓発活動に参加する	インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する	わからない	その他	無回答
215	50	20	33	72	54	16	48	2	2
—	23.3%	9.3%	15.3%	33.5%	25.1%	7.4%	22.3%	0.9%	0.9%

- 協力意向がない理由については、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」(52.8%)が最も高く、次いで「何となく怖いイメージがあるから」(39.9%)、「非行や犯罪をした人とかかわりを持ちたくないから」(39.9%)などとなっている。

問 46 (問 44 で「3 どちらかといえば思わない」、「4 思わない」とお答えの方) 協力したいと思わない理由を教えてください(複数回答)

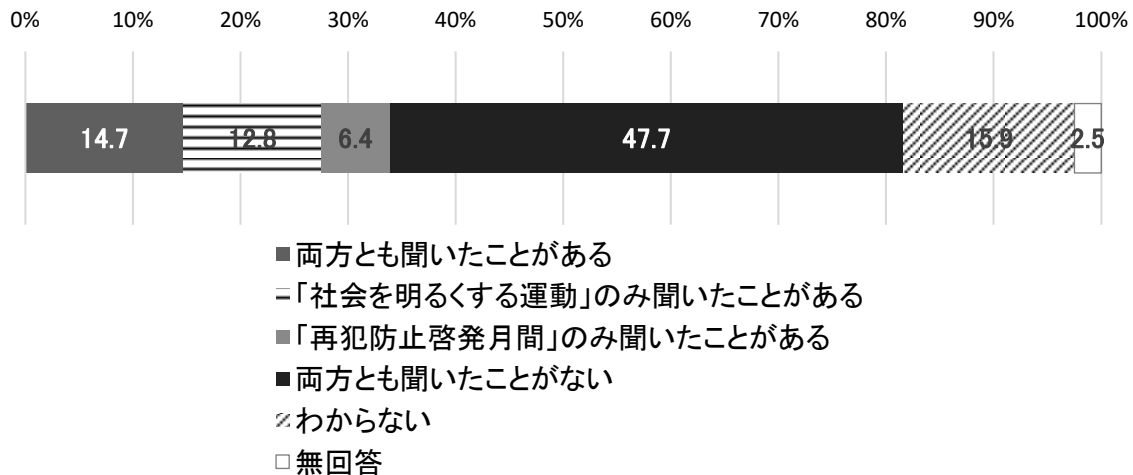


総数	何となく怖いイメージがあるから	非行や犯罪をした人とかかわりを持ちたくないから	非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	自分自身にメリットがないから	具体的なイメージがわからないから	時間的余裕がないから	興味がないから	非行や犯罪をした人の支援は国や地方公共団体が行うべきだから	非行や犯罪をした人には支援をすべきでないから	わからない	その他	無回答
303	121	121	160	46	91	100	39	52	22	7	17	5
—	39.9%	39.9%	52.8%	15.2%	30.0%	33.0%	12.9%	17.2%	7.3%	2.3%	5.6%	1.7%

### (3) 再犯防止活動の認知度

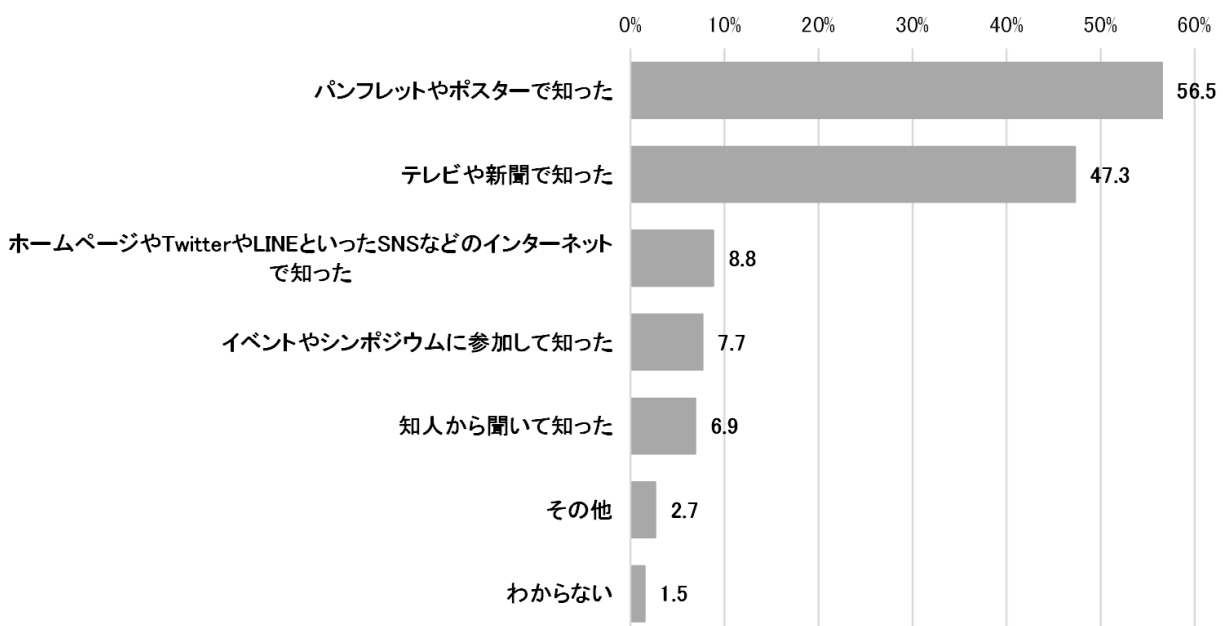
- 「両方とも聞いたことがない」が 47.7%となっており、「両方とも聞いたことがある」(14.7%)を上回っている。
- 活動を知ったきっかけとしては、「パンフレットやポスターで知った」が 56.5%で最も高く、次いで「テレビや新聞で知った」(47.3%)となっている。

問 47 再犯防止に関する広報や啓発活動として取り組んでいる「社会を明るくする運動」、「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか



総数	両方とも聞いたことがある	「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある	「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある	両方とも聞いたことがない	わからない	無回答
767	113	98	49	366	122	19
100.0%	14.7%	12.8%	6.4%	47.7%	15.9%	2.5%

問 48 問 47 で「1」、「2」、「3」(両方又はいずれかを聞いたことがある)とお答えの方にうかがいます。どのようにして知りましたか(複数回答)



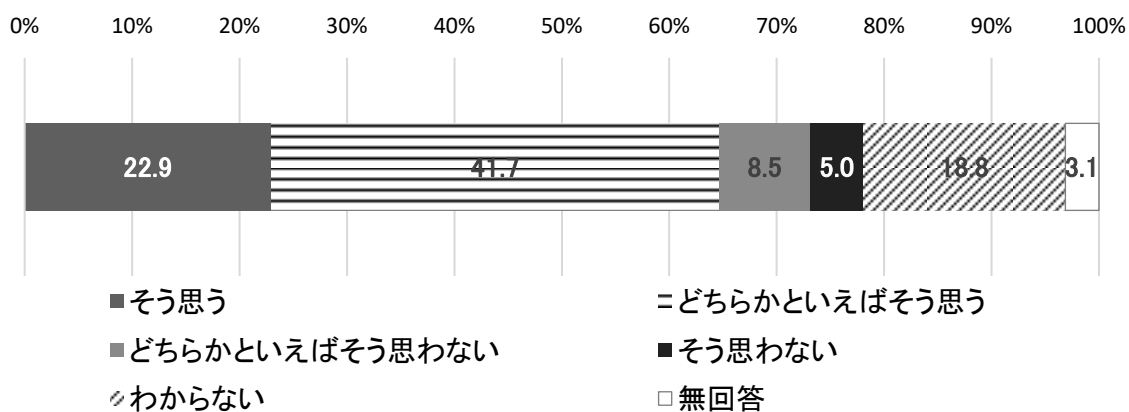


総数	パンフレットやポスターで知った	イベントやシンポジウムに参加して知った	テレビや新聞で知った	ホームページやTwitterやLINEといったSNSなどのインターネットで知った	知人から聞いて知った	わからない	その他	無回答
260	147	20	123	23	18	4	7	4
—	56.5%	7.7%	47.3%	8.8%	6.9%	1.5%	2.7%	1.5%

#### (4) 再犯防止の考え方について

- 「そう思う」(22.9%) 及び「どちらかといえばそう思う」(41.7%) で回答者の6割強を占めている。

問 49 再犯防止のためには、「非行や犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることができる『誰一人取り残さない』社会の実現が大切である」という意見について、どう思われますか

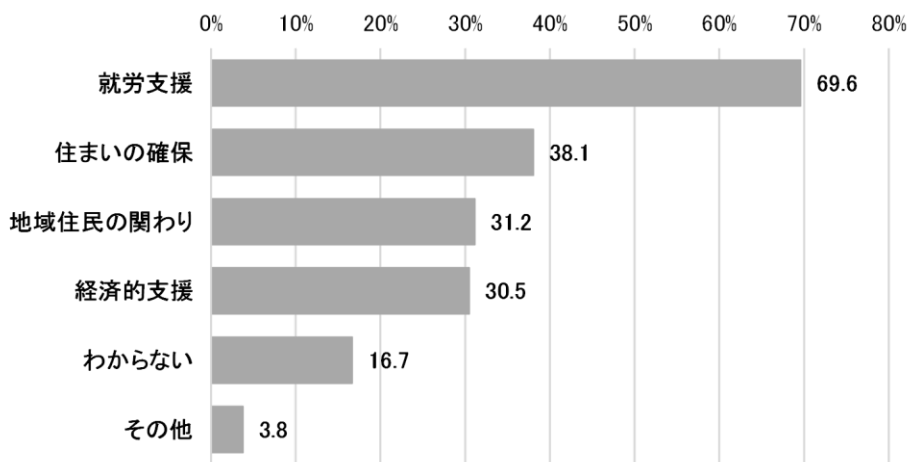


総数	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わな い	わからない	無回答
767	176	320	65	38	144	24
100.0%	22.9%	41.7%	8.5%	5.0%	18.8%	3.1%

## (5) 再犯防止に係る支援策について

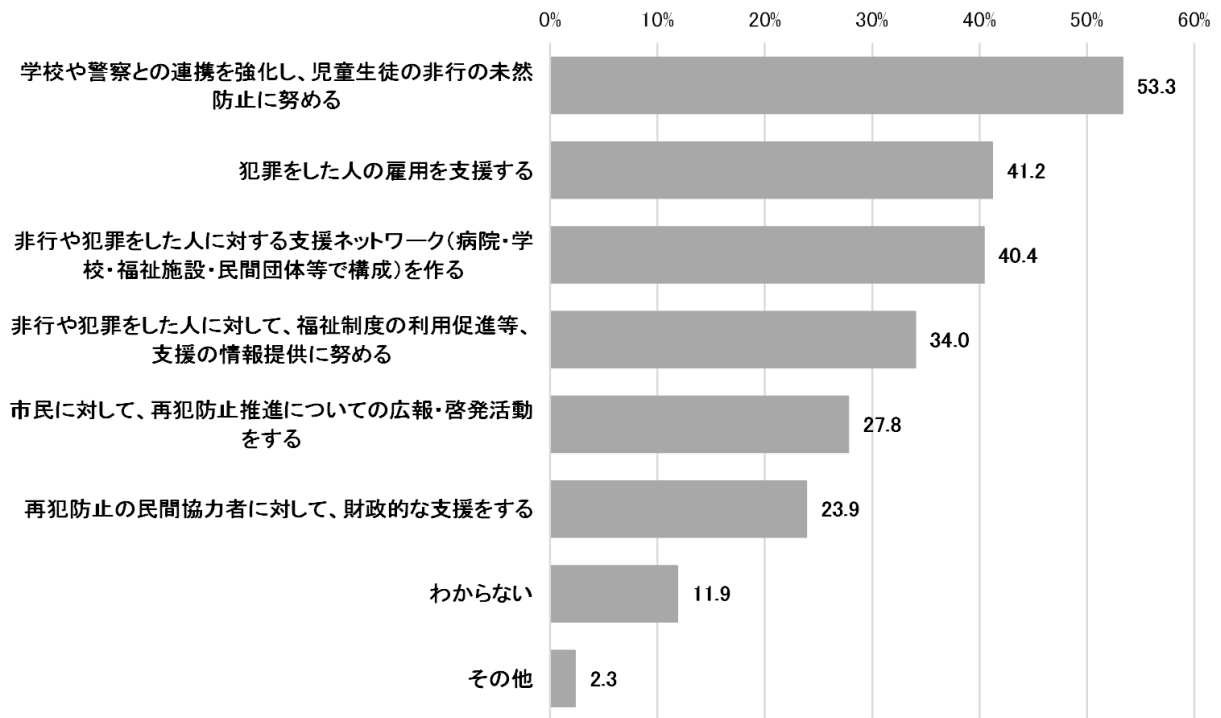
- 「就労支援」が69.6%で最も高く、次いで「住まいの確保」(38.1%)となっている。
- 再犯防止に向けた行政の取組については、「学校や警察との連携を強化し、児童生徒の非行の未然防止に努める」(53.3%)、「犯罪をした人の雇用を支援する」(41.2%)、「非行や犯罪をした人に対する支援ネットワークを作る」(40.4%)などとなっている。

問 50 非行や犯罪をした人が地域に戻り生活するためには、どのような支援が大切であると思いますか（複数回答）



総数	住まいの確保	経済的支援	就労支援	地域住民の関わり	わからない	その他	無回答
767	292	234	534	239	128	29	24
—	38.1%	30.5%	69.6%	31.2%	16.7%	3.8%	3.1%

問 51 再犯防止のために、行政は何をするべきだと思いますか（複数回答）



総数	市民に対して、再犯防止推進についての広報・啓発活動をする	非行や犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院・学校・福祉施設・民間団体等で構成)を作る	非行や犯罪をした人に対して、福祉制度の利用促進等、支援の情報提供に努める	再犯防止の民間協力者に対して、財政的な支援をする	学校や警察との連携を強化し、児童生徒の非行の未然防止に努める	犯罪をした人の雇用を支援する	わからない	その他	無回答
—	213	310	261	183	409	316	91	18	25
100.0%	27.8%	40.4%	34.0%	23.9%	53.3%	41.2%	11.9%	2.3%	3.3%

### Ⅲ 調査結果のまとめ

#### 1 地域の概況について

アンケート大項目：「1 あなた自身について」「2 地域での日常生活について」「3 ボランティア活動等への参加について」

##### (1) 世帯状況

○夫婦と子の2世代世帯(33.5%)が最も多く、次いで夫婦のみ世帯(24.1%)となっている。

○居住地区別の状況を見ると、特に旧市内におけるひとり暮らし世帯(53.1%)が多くなっている。

○世帯状況の変化について前回調査と比較してみると、夫婦のみ世帯がやや増加し、3世代世帯が減少している。

(単位：%)

世帯状況	H19 実施	H30 実施 (前回)	R5 実施 (今回)	R5/H30
ひとり暮らし世帯	5.4	8.6	8.3	0.97
夫婦のみ世帯	17.5	21.1	24.1	1.14
夫婦と子の2世代世帯	35.2	32.5	33.5	1.03
3世代世帯	35.3	19.2	15.8	0.82

##### (2) 地域生活の状況

○須賀川市の住みやすさについては、8割程度は地域を『住みやすい(「住みやすい」+「まあ住みやすい」)』と感じている。また、「住みやすい」の割合が他地区に比べて高かったのは旧市内(39.9%)で、「住みにくい」が高かったのは大東地区(13.6%)となっている。

○ご近所付き合いの程度については、「あいさつを交わす程度の人がいる」(28.3%)が最も多く、次いで「立ち話のできる人がある」(27.2%)となっている。居住地区別にみると、「なにか困ったときに助け合えるような親しい人がある」が最も高いのが浜田地区(41.2%)、長沼地区(31.4%)、「立ち話のできる人がある」が最も高いのが仁井田地区(36.2%)、稲田地区(35.9%)となっている。

○ご近所付き合いで大切なものについては、「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」(60.0%)が最も多く、次いで「防犯活動や災害のときの助け合い」(42.5%)となっている。

○お住いの地域の課題等については、「隣近所との交流が少ない」(30.5%)が最も多く、次いで「世代間の交流が少ない」(29.5%)となっている。

##### (3) 地域活動の状況

○地域活動等への参加状況については、「ほとんど(まったく)参加しない」(54.6%)が最も多い一方、岩瀬地区、小塩江地区など、「参加している」という割合が過半数という地区もみられる。

## (4) 今後の地域づくり

○今後、どのような地域になればよいと思うかについては、「災害時に助け合える地域」(35.9%)が最も多く、次いで「お金のかからない住みやすい地域」(34.9%)、「若い世代にとって魅力のある地域」(34.3%)となっている。

○居住地区別には最多回答割合の内容に若干差異がみられる。

旧市内	「災害時に助け合える地域」(36.2%)
浜田地区	「若い世代にとって魅力のある地域」(38.2%)
西袋地区	「災害時に助け合える地域」(47.8%)
稲田地区	「若い世代にとって魅力のある地域」(43.6%)
小塩江地区	「若い世代にとって魅力のある地域」(36.4%)
仁井田地区	「災害時に助け合える地域」(46.4%)
大東地区	「お金のかからない住みやすい地域」(50.8%)
長沼地区	「お金のかからない住みやすい地域」(37.3%)
岩瀬地区	「福祉サービスが充実した地域」(45.5%)

○地域の人たちが自主的に協力しあう関係の必要性については、「必要だと思う」(60.4%)が最も多くなっている。また、協力が必要な問題としては、「災害時の助け合い」(78.0%)、「一人暮らし高齢者や高齢世帯への支援」(64.3%)などとなっている。

## (5) ボランティア活動の状況

○ボランティア活動等への参加状況については、「参加したことがない」が55.0%で最も多い一方、何らかの「参加」経験がある割合が高い地区もみられる。(西袋地区、小塩江地区、長沼地区)

○「参加」経験者の活動内容については、「環境美化に関する活動」(57.3%)が最も多く、参加にあたっての問題点としては「一緒に活動する参加者が少ない」(35.1%)などとなっている。

○今後の活動等への参加意向については、「できれば参加したい」(38.1%)が最も多く、次いで「わからない」(26.9%)となっており、「参加」意向のある場合の活動内容としては「環境美化に関する活動」(47.5%)が最も多い。

## 2 福祉サービスについて

アンケート大項目：「4 福祉サービス全般について」

○福祉サービスに関する情報入手については、「あまり入手できていない」(30.8%)が最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」(27.4%)となっている。一方、「ある程度入手できている」の割合が比較的高い地区もみられる。(稲田地区：35.9%、浜田地区：35.3%)

○福祉サービスに関する情報の入手先については、「市役所の窓口や広報紙」(50.7%)が最も多く、次いで「地域の回覧板」(38.1%)となっている。

○地域福祉を進めるために取組むべき施策については、「高齢や障がいによって要介護になっても在宅生活が続けられるサービスの充実」(48.6%)が最も多く、次いで「身近なところで相談できる窓口の充実」(33.0%)となっている。

### 3 ひきこもりの状況

アンケート大項目：(5 「ひきこもり」について)

○6カ月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方が「いる」(2.7%)となっており、須賀川市の世帯数27,866世帯(令和5年7月1日現在・令和2年国勢調査確定値に基づく推計値)×2.7%とすると、およそ750世帯以上に「ひきこもり」があると推定される。

○年齢は「25～29歳」(19.0%)、「45～49歳」(19.0%)、性別は「男性」(66.7%)の割合が高くなっている。

○経過年数については、「5年以上」(47.6%)が最も多く、次いで「1年～3年」(28.6%)となっている。

○必要な支援策については、「ひきこもりを専門とする相談支援員による支援」(42.9%)、「専門的な医療スタッフによる支援」(42.9%)などとなっている

### 4 災害時の対応等

アンケート大項目：「6 災害時の対応及び避難行動要支援者支援制度について」

○この取組に関する認知度については、「知らなかった」(67.5%)が「知っていた」(30.1%)を上回っている。

○緊急時に手助けを頼める方の有無については、「はい」(43.8%)が「いいえ」(32.1%)を上回っている。

○災害発生前の備えについては、「危険箇所の把握」(61.8%)が最も多く、次いで「日ごろからの隣近所との挨拶、声掛けや付き合い」(47.6%)となっている。

## 5 成年後見制度

アンケート大項目：「7 成年後見制度について」

- 制度の認知度については、「制度の内容を知っていた」(39.4%)、「名前は聞いたことがあるが、制度の内容はわからなかった」(32.9%)となっており、回答者の7割強は認知している
- 制度利用にあたっての困りごととしては、「制度の詳しい内容がわからない」(56.2%)が最も多く、次いで「費用がいくらかかるのかわからない」(54.9%)、「手続きの方法がわからない」(54.8%)などとなっている

## 6 再犯防止の取組

アンケート大項目：「8 再犯防止の取り組みについて」

- 民間の再犯防止協力者に関する認知度では、「保護司」(57.5%)が最も多くなっている。
- 再犯防止への協力意向については、「思う」(6.3%)及び「どちらかといえば思う」(29.9%)あわせて36.2%となっており、「思わない」+「どちらかといえば思わない」=39.5%をやや下回っている。
- 再犯防止活動（社会を明るくする運動・再犯防止啓発月間）の認知度については、「両方とも聞いたことがない」(47.7%)が多く、「両方とも聞いたことがある」(14.7%)を上回っている。
- 再犯防止に係る支援策については、「就労支援」(69.6%)が最も多く、次いで「住まいの確保」(38.1%)となっている。